

BladeSymphony

**Virtage Navigator ユーザーズガイド
操作リファレンス編**

Revision 2.40

HITACHI

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複製することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標と商標について

Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2012, Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator V02-04 に対応している操作リファレンス編です。
なお、本資料での「」は参照を表しています。

目次

1	ログイン	2
2	MAINウインドウメニューバー	3
3	PROFILE	6
4	LPAR 設定	8
5	モニタリング	32
6	構成ビューア	73
7	LPARマイグレーション	83
8	ファームウェア更新	92
9	ソリューション	99
10	メッセージ一覧	103
10.1	共通メッセージ	104
10.2	LPAR設定用メッセージ	109
10.3	モニタリング用メッセージ	127
10.4	ファームウェア更新用メッセージ	128
10.5	ソリューション用メッセージ	129
11	変更履歴	135

1 ログイン

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Login ウィンドウ		V01-00
2	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	V01-00
3	Password テキストボックス	パスワードを入力	V01-00
4	Login ボタン	本ウィンドウを閉じ、Main ウィンドウを開く	V01-00

2 Mainウインドウメニューバー

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Main ウインドウ(メニューバー)		V01-00
2	File(F)メニュー	Exit(X) Alt+X メニューを開く	V01-00
3	Exit(X) Alt+X メニュー	Virtage Navigator を終了	V01-00
4	Setting(S)メニュー	Option(O) Alt+O メニューを開く	V01-00
5	Option(O) Alt+O メニュー	Option ウィンドウを開く	V01-00
6	Help(H)メニュー	About(A) Alt+A メニューを開く	V01-00
7	Get Technical Information(T) Alt+T メニュー	Virtage Navigator の技術情報を採取する	V02-00
8	Trouble (D) Alt+D メニュー	Trouble ウィンドウを開く	V02-04
9	About(A) Alt+A メニュー	Version Information ウィンドウを開く	V01-00
10	Option ウィンドウ		V01-00
11	HVM メニュー		V01-00
12	HVM Connection メニュー		V01-00
13	TimeOut Limit テキストボックス	HVM 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	V01-00
14	Communication IP Address コンボボ ックス	HVM 接続 IP アドレスの指定 デフォルト設定は” Not set” (指定しない)	V01-00
15	SVP メニュー		V02-00
16	SVP Connection メニュー		V02-00
17	TimeOut テキストボックス	SVP 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	V02-00
18	Migration Service メニュー		V01-00
19	Migration Service Status メニュー		V01-00
20	Status	Migration Service の状態を表示	V01-00
21	Error Message テキストボックス	【Status が Error の場合】 メッセージを表示	V01-00
22	Stop ボタン	Migration Service を停止	V01-00
23	Restart ボタン	Migration Service を再開	V01-00
24	Migration Service Configuration メニュー		V01-00
25	Migration Service Port テキストボ ックス	Migration Service のポートを設定 デフォルト設定は 23400	V01-00
26	Migration Option メニュー		V01-00
27	OS Shutdown Setting メニュー		V01-00
28	Waiting TimeOut Limit テキストボ ックス	リモートシャットダウンのタイムアウト時間を設 定(単位:分) デフォルト設定は 5 分	V01-00

29	Performance メニュー		V01-00
30	Processor Resource メニュー		V01-00
31	Auto ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサを動的に変更する Virtage Navigator ラジオボタンを有効にする Other Application ラジオボタンを有効にする	V01-00
32	Virtage Navigator ラジオボタン	Virtage Navigator の動作を優先する (デフォルト)	V01-00
33	Other Application ラジオボタン	Virtage Navigator 以外のアプリケーションやサービスの動作を優先する	V01-00
34	Specify the processor count ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサの個数で指定 コンボボックスを有効にする	V01-00
35	コンボボックス	使用するプロセッサの個数を指定 デフォルト設定は 1	V01-00
36	Specify the processor number ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサ番号で指定 リストボックスを有効にする	V01-00
37	リストボックス	使用するプロセッサ番号を指定	V01-00
38	Other メニュー		V01-00
39	SSH Component Setting メニュー		V01-00
40	Path テキストボックス	plink.exe の格納場所を指定 デフォルト設定は%VirNavi%bin	V01-00
41	Open ボタン	サブウィンドウ (ファイルを開くウィンドウ) を開く	V01-00
42	ファイルを開くウィンドウ		V01-00
43	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
44	Terminal Application Setting メニュー		V02-00
45	Path テキストボックス	ttermpro.exe の格納場所を指定	V02-00
46	Open ボタン	サブウィンドウ (ファイルを開くウィンドウ) を開く	V02-00
47	ファイルを開くウィンドウ		V02-00
48	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-00
49	R-KVM Application (Reclient) メニュー		V02-00
50	Path テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのインストールパスを表示する	V02-00
51	Version テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのバージョンを表示する	V02-00
52	Apply ボタン	設定を保存	V01-00
53	OK ボタン	設定を保存して、本ウィンドウを閉じる	V01-00
54	Cancel ボタン	設定を保存せず、本ウィンドウを閉じる	V01-00

55	Trouble ウィンドウ		V02-04
56	GetHVMPerfMon チェックボックス	【チェックあり】 HVM 統計情報採取を行う 【チェックなし】 HVM 統計情報採取を行わない	V02-04
57	GetHVMDump チェックボックス	【チェックあり】 HVM ダンプ採取を行う 【チェックなし】 HVM ダンプ採取を行わない	V02-04
58	HVM IP Address コンボボックス	対象 HVM の IP Address を選択する	V02-04
59	Count テキストボックス	実行回数を設定する	V02-04
60	Interval テキストボックス	実行間隔を設定する	V02-04
61	Folder Path テキストボックス	出力先フォルダパスを表示する	V02-04
62	Select ボタン	出力先フォルダパスを選択する	V02-04
63	Selected Drive Size テキストボックス	出力先のディスクサイズを表示する	V02-04
64	Selected Drive Free Size テキストボックス	出力先の空きディスクサイズを表示する	V02-04
65	Limit Data Size テキストボックス	実行結果の限界サイズを設定します	V02-04
66	Start ボタン	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を開始する	V02-04
67	Stop ボタン	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を停止する	V02-04
68	Status メニュー		V02-04
69	Start Time	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を開始した時間を表示する	V02-04
70	Status	ステータスを表示する Run: 実行中 Stop: 停止中 Error: 採取失敗	V02-04
71	Time	経過時間を表示する	V02-04
72	Count	実行回数を表示する	V02-04
73	Data Size	採取サイズを表示する	V02-04
74	Max Time	一回あたりの最大時間を表示する	V02-04
75	Version Information ウィンドウ		V01-00
76	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

3 Profile

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Profile タブ)		V01-00
2	Menu フレーム		V01-00
3	Add ボタン	Configuration Registration ウィンドウを開く	V01-00
4	Delete ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ)を開く	V01-00
5	Delete HVM ウィンドウ (Main ウィンドウの Delete ボタンクリック時に開くウィンドウ)		V01-00
6	OK ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ)を開く	V01-00
7	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	V01-00
8	Delete HVM ウィンドウ (Delete HVM ウィンドウの OK ボタンクリック時に開くウィンドウ)		V01-00
9	OK ボタン	選択した機器を削除	V01-00
10	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	V01-00
11	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V01-00
12	System Configuration フレーム		V01-00
13	ツリービュー	(1) 詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示) (2) 削除対象の HVM を選択	V01-00
14	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	V01-00
15	Configuration Registration ウィンドウ		V01-00
16	Machinery Choice フレーム		V01-00
17	Machinery コンボボックス	探索する機器の種類を選択 (現在サポートしているのは、HVM のみ)	V01-00
18	Input Condition フレーム		V01-00
19	IP Range Specification チェックボックス	【チェックあり】 IP アドレスを範囲指定できる 【チェックなし】 IP アドレスは1つのみにする	V01-00
20	From テキストボックス	探索範囲の始まりの IP アドレスを指定	V01-00
21	To テキストボックス	探索範囲の終わりの IP アドレスを指定	V01-00
22	Time Out テキストボックス	1つの IP アドレス探索毎に設けるタイムアウト時間を入力 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	V01-00
23	Search ボタン	機器を探索 検知した機器は、Machinery List リストに表示 【範囲指定した IP アドレスを探索している最中】 サブウィンドウ (Searching the IP address ウィンドウ)を開く	V01-00

24	Searching the IP address ウィンドウ		V01-00
25	Cancel ボタン	機器探索を中止	V01-00
26	Machinery List リスト		V01-00
27	チェックボックス	登録する機器を選択 デフォルトでは、チェックあり	V01-00
28	Add ボタン	Machinery List で選択した機器を登録 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	V01-00
29	Confirmation ウィンドウ		V01-00
30	OK ボタン	選択した機器を登録 サブウィンドウ(Registering the HVM ウィンドウ)を開く	V01-00
31	キャンセルボタン	選択した機器の登録を取り止める	V01-00
32	Registering the HVM ウィンドウ		V01-00
33	Cancel ボタン	選択した機器の登録を中止	V01-00
34	Close ボタン	【Machinery List に HVM がある場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【Machinery List に HVM がない場合】 機器登録を終了する	V01-00
35	Confirmation ウィンドウ		V01-00
36	OK ボタン	機器登録を終了する	V01-00
37	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる(機器登録を継続する)	V01-00

4 LPAR 設定

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (LPAR Configuration タブ)		V02-00
2	System List フレーム		V02-00
3	コンボボックス	LPAR 設定対象のシステム構成を選択する 選択したシステムの構成を HVM Select フレーム内のツリービューに表示する	V02-00
4	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	V02-00
5	HVM Select フレーム		V02-00
6	ツリービュー	LPAR 設定対象の項目 (Chassis、HVM) を選択する	V02-00
7	Initial Setup ボタン	Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
8	Make LPAR ボタン	Make LPAR ウィンドウを開く	V02-00
9	HVM Console ボタン	HVM Console ウィンドウを開く	V02-00
10	Related Console ボタン	Related Console ウィンドウを開く	V02-00
11	System Edit ウィンドウ	構成ビューアの「System Edit ウィンドウ」の説明をご参照ください	V02-00
12	Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
13	Start Initial Setup 操作メニュー		V02-00
14	Next ボタン	Select Chassis 操作フレームに進む	V02-00
15	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
16	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
17	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
18	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
19	Select Chassis 操作メニュー		V02-00
20	Chassis Select メニュー		V02-00
21	Input SVP Information ラジオボタン	SVP Information を指定可能にする	V02-00
22	Select SVP by Chassis ID ラジオボタン	既登録の Chassis 情報を SVP Information に表示する (SVP 情報は指定不可になる)	V02-00
23	コンボボックス	既登録の Chassis 情報を選択する	V02-00
24	Delete ボタン	既登録の Chassis 情報を削除する	V02-00
25	SVP Information メニュー		V02-00
26	IP Address テキストボックス	Chassis の IP Address を指定する	V02-00
27	User ID テキストボックス	Chassis の User ID を指定する	V02-00
28	Password テキストボックス	Chassis の Password を指定する	V02-00

29	Back ボタン	Start Initial Setup 操作フレームに戻る	V02-00
30	Next ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	V02-00
31	Select Chassis ウィンドウ		V02-00
32	OK ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	V02-00
33	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
34	Chassis Detection ウィンドウ		V02-00
35	OK ボタン	Select Partition 操作フレームに進む	V02-00
36	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
37	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
38	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
39	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
40	Select Partition 操作メニュー		V02-00
41	Partition 一覧	Partition を選択する	V02-00
42	Information メニュー		V02-00
43	Partition Number	選択された Partition Number を表示する	V02-00
44	Power Status	選択された Partition の電源状態を表示する	V02-00
45	Mode	選択された Partition の OS Mode を表示する	V02-00
46	HVM メニュー		V02-00
47	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
48	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
49	Firmware Version メニュー		V02-00
50	SVP	SVP の Firmware Version を表示する	V02-00
51	HVM	HVM の Firmware Version を表示する	V02-00
52	BMC	BMC の Firmware Version を表示する	V02-00
53	BIOS/EFI	BIOS/EFI の Firmware Version を表示する	V02-00
54	Refresh ボタン	選択可能な Partition 一覧を更新する	V02-00
55	Back ボタン	Select Chassis 操作フレームに戻る	V02-00
56	Next ボタン	Select Partition ウィンドウを開く	V02-00
57	Select Partition ウィンドウ		V02-00
58	OK ボタン	HVM Setting 操作フレームに進む	V02-00
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
60	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
61	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
62	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
63	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
64	HVM Setting 操作メニュー		V02-00
65	Management LAN Settings メニュー		V02-00
66	HVM IP Address テキストボックス	HVM の IP Address を指定する	V02-00
67	Subnet Mask テキストボックス	Subnet Mask を指定する	V02-00
68	Default Gateway テキストボックス	Default Gateway を指定する	V02-00

69	VNIC System No メニュー		V02-00
70	VNIC System No. テキストボックス	VNIC System No. を指定する	V02-00
71	アイコン	Note for VNIC System No ウィンドウを開く	V02-00
72	Note for VNIC System No ウィンドウ		V02-00
73	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
74	HVM ID メニュー		V02-00
75	HVM ID テキストボックス	HVM ID を指定する	V02-00
76	アイコン	Note for HVM ID ウィンドウを開く	V02-00
77	Note for HVM ID ウィンドウ		V02-00
78	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
79	CLI IP Address メニュー		V02-01
80	CLIx IP Address テキストボックス	CLI1~HVM CLI8 の IP Address を指定する	V02-01
81	Back ボタン	Select Partition 操作フレームに戻る	V02-00
82	Next ボタン	HVM Setting ウィンドウを開く	V02-00
83	HVM Setting ウィンドウ		V02-00
84	OK ボタン	Settings & Power ON 操作フレームに進む	V02-00
85	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
86	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
87	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
88	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
90	Settings & Power ON 操作メニュー		V02-00
91	Chassis メニュー		V02-00
92	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	V02-00
93	Partition メニュー		V02-00
94	Partition #	Partition Number を表示する	V02-00
95	OS Mode	Partition の OS Mode を表示する	V02-00
96	HVM メニュー		V02-00
97	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
98	Subnet Mask	Subnet Mask を表示する	V02-00
99	Default Gateway	Default Gateway を表示する	V02-00
100	VNIC System No	VNIC System No. を表示する	V02-00
101	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
102	Back ボタン	HVM Setting 操作フレームに戻る	V02-00
103	Next ボタン	Wait for HVM Ready 操作フレームに進む	V02-00
104	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
105	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
106	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
107	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00

108	Wait for HVM Ready 操作メニュー		V02-00
109	Chassis メニュー		V02-00
110	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	V02-00
111	Partition メニュー		V02-00
112	Partition #	Partition Number を表示する	V02-00
113	HVM メニュー		V02-00
114	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
115	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
116	アイコン	Help ウィンドウを開く	V02-00
117	Help ウィンドウ		V02-00
118	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
119	System Console(web) ボタン	System Console(web)に接続するための 入力ウィンドウを開く	V02-00
120	System Console(Telnet) ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	V02-00
121	Wait for HVM Ready ウィンドウ		V02-00
122	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、System Console(Telnet)に 接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
123	R-KVM Console ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	V02-00
124	Wait for HVM Ready ウィンドウ		V02-00
125	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、R-KVM Console に 接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
126	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
127	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
128	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
129	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
130	Register to Profile 操作メニュー		V02-00
131	Chassis メニュー		V02-00
132	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	V02-00
133	Partition メニュー		V02-00
134	Partition #	Partition Number を表示する	V02-00
135	HVM メニュー		V02-00
136	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
137	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
138	Next ボタン	Make LPAR 操作フレームに進む	V02-00
139	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
140	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
141	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
142	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00

143	Make LPAR 操作メニュー		V02-00
144	LPAR count	LPAR Make ウィンドウの「LPAR count」の説明をご参照ください	V02-00
145	How to make LPARs	LPAR Make ウィンドウの「How to make LPARs」の説明をご参照ください	V02-00
146	Processor count	LPAR Make ウィンドウの「Processor count」の説明をご参照ください	V02-00
147	Size of the memory [GB]	LPAR Make ウィンドウの「Size of the memory [GB]」の説明をご参照ください	V02-00
148	NIC card count	LPAR Make ウィンドウの「NIC card count」の説明をご参照ください	V02-00
149	HBA card count	LPAR Make ウィンドウの「HBA card count」の説明をご参照ください	V02-00
150	Confirm	LPAR Make ウィンドウの「Confirm」の説明をご参照ください	V02-00
151	System Parameter メニュー	LPAR Make ウィンドウの「System Parameter フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
152	LPAR Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「LPAR Condition フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
153	Processor Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「Processor Condition フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
154	Memory Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「Memory Condition フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
155	NIC Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「NIC Condition フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
156	HBA Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「HBA Condition フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
157	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	V02-00
158	Next ボタン	LPAR Operation 操作フレームに進む	V02-00
159	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
160	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
161	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
162	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
163	LPAR Operation 操作メニュー		V02-00
164	LPAR 一覧	LPAR を選択する	V02-00
165	Activate ボタン	Activate ウィンドウを開く	V02-00
166	Activate ウィンドウ		V02-00
167	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
168	Deactivate ボタン	Deactivate ウィンドウを開く	V02-00
169	Deactivate ウィンドウ		V02-00
170	OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる	V02-00

171	R-KVM Console ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	V02-00
172	USB Attach/Detach ウィンドウ		V02-00
173	OK ボタン	USB を Attach/Detach し、本ウィンドウを閉じ、 R-KVM に接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
174	Cancel ボタン	USB を Attach/Detach せず、本ウィンドウを閉じ、 USB Attach/Detach ウィンドウを開く	V02-00
175	USB Attach/Detach ウィンドウ		V02-00
176	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
177	Information メニュー		V02-00
178	LPAR #	LPAR Number を表示する	V02-00
179	Power Status	LPAR の Power Status を表示する	V02-00
180	Memory Size	LPAR の Memory Size を表示する	V02-00
181	Processor	LPAR の Processor Mode と Processor 数を表示する	V02-00
182	USB メニュー		V02-00
183	USB 一覧	LPAR が使用している USB の一覧を表示する	V02-00
184	HBA メニュー		V02-00
185	HBA 一覧	LPAR が使用している HBA の一覧を表示する	V02-00
186	NIC メニュー		V02-00
187	NIC 一覧	LPAR が使用している NIC の一覧を表示する	V02-00
188	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	V02-00
189	Save ボタン	Save HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
190	Save HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
191	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ、 Save HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
192	Save HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
193	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
194	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じ、 Save HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
195	Save HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
196	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
197	Back ボタン	Make LPAR 操作フレームに戻る	V02-00
198	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
199	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
200	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
201	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
202	Make LPAR ウィンドウ		V02-00
203	コンボボックス	表示するウィンドウ (LPAR Make ウィンドウ/ HVM Console ウィンドウ) を選択する	V02-00
204	HVM Information フレーム		V02-00
205	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
206	HVM IP	HVM の IP Address を表示する	V02-00
207	Update (U) ボタン	HVM 構成情報を更新する	V02-00

208	Make LPAR フレーム		V02-00
209	LPAR count		V02-00
210	コンボボックス	作成する LPAR 数を指定する	V02-00
211	How to make LPARs		V02-00
212	Use default parameter ラジオボタン	以下項目に規定値を表示する(以下項目が指定不可になる) ・ プロセッサ数:2 ・ メモリ容量:1GB ・ NIC カードの枚数:1 枚 ・ HBA カードの枚数:1 枚	V02-00
213	Use custom parameter ラジオボタン	プロセッサ数、メモリ容量、NIC カードの枚数、HBA カードの枚数を指定可能にする	V02-00
214	Processor count		V02-00
215	コンボボックス	プロセッサ数を指定する	V02-00
216	Size of the memory [GB]		V02-00
217	コンボボックス	メモリ容量を指定する	V02-00
218	NIC card count		V02-00
219	コンボボックス	NIC カードの枚数を指定する	V02-00
220	HBA count		V02-01
221	Port ラジオボタン	HBA ポート数を指定する	V02-01
222	Card ラジオボタン	HBA カード数を指定する	V02-01
223	コンボボックス	HBA カードの枚数を指定する	V02-00
224	Confirm		V02-00
225	LPAR 設定一覧	指定したプロセッサ数、メモリ容量、NIC カードの枚数 HBA カードの枚数を表示する	V02-00
226	Create LPARs		V02-00
227	Create ボタン	LPAR を作成する	V02-00
228	Save HVM Configuration		V02-00
229	Save ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	V02-00
230	Save Configuration ウィンドウ		V02-00
231	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ Save Configuration Finish ウィンドウを開く	V02-00
232	Save Configuration Finish ウィンドウ		V02-00
233	OK ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
234	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じる	V02-00
235	System Parameter メニュー		V02-00
236	LPAR メニュー		V02-00
237	Define	LPAR 定義数を表示する	V02-00
238	Remain	LPAR 未定義数(定義可能最大数 - 定義数)を表示する	V02-00
239	Processor メニュー		V02-00
240	Total	共有プロセッサ定義数と占有プロセッサ定義数の合計を表示する	V02-00
241	Share Proc	共有プロセッサ定義数を表示する	V02-00
242	Dedicate Proc	占有プロセッサ定義数を表示する	V02-00

243		Memory メニュー		V02-00
244		User Total	使用メモリの総容量を表示する	V02-00
245		Assign Total	定義メモリの総容量を表示する	V02-00
246		Remain	未使用メモリの容量を表示する	V02-00
247		LPAR Condition メニュー	LPAR の状態を表示する	V02-00
248		Processor Condition メニュー	Processor の状態を表示する	V02-00
249		Memory Condition メニュー	Memory の状態を表示する	V02-00
250		NIC Condition メニュー	NIC の状態を表示する	V02-00
251		HBA Condition メニュー	HBA の状態を表示する	V02-00
252	HVM Console ウィンドウ			V02-00
253		コンボボックス	LPAR Make ウィンドウの「コンボボックス」の説明をご参照ください	V02-00
254		HVM Information フレーム	LPAR Make ウィンドウの「HVM Information フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
255		Update (U) ボタン	LPAR Make ウィンドウの「Update ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
256	HVM Console 選択操作メニュー			V02-00
257		HVM Menu ボタン	Menu フレームに移行する	V02-00
258		コンボボックス	表示するスクリーンを選択する	V02-00
259		<< Prev. ボタン	登録スクリーン順序が1つ前のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は以下のとおり (00) HVM Main Menu (01) Logical Partition Configuration (02) Logical Processor Configuration (03) Physical Processor Configuration (04) PCI Device Information (05) PCI Device Assignment (06) VNIC Assignment (07) Shared FC Assignment (08) Allocated FC Information (09) System Configuration (10) System Service State (12) HVM Options (15) HVM System Logs (16) Firmware Version Information (17) Boot Setting	V02-01
260		Next >>ボタン	登録スクリーン順序が1つ後のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は << Prev. ボタン を参照	V02-00

261	スクリーン		V02-00
262	Menu スクリーン		V02-00
263	Menu フレーム		V02-00
264	Logical Partition Configuration	LPAR の名称やプロセッサ数、メモリ容量などを設定します	V02-00
265	Logical Processor Configuration	各 LPAR に対して論理プロセッサの設定を行います	V02-00
266	Physical Processor Configuration	物理プロセッサの構成や状態を表示します	V02-00
267	PCI Device Information	PCI デバイスの情報を表示します	V02-00
268	PCI Device Assignment	各 LPAR に対して PCI デバイスの割り当てを行います	V02-00
269	VNIC Assignment	各 LPAR に対して仮想 NIC の割り当てを行います	V02-00
270	Shared FC Assignment	各 LPAR に対して共有モードの FC アダプタの割り当てを行います	V02-00
271	Allocated FC Information	実装されている FC アダプタの構成情報を表示します	V02-00
272	System Configuration	HVM システムの構成設定を行います	V02-00
273	System Service State	HVM システムのサービス状態を示します	V02-00
274	Date And Time	HVM システムや LPAR の時刻を設定します	V02-04
275	HVM Options	HVM オプション機能を設定します	V02-00
276	HVM System Logs	HVM で発生した様々なイベントを表示します	V02-00
277	Firmware Version Information	各コンポーネントのファームウェアバージョンを表示します	V02-00
278	Boot Setting	各 LPAR の Boot 設定を行います。	V02-01
279	Activate LPAR ボタン	Active LPAR ウィンドウを開く	V02-00
280	Active LPAR ウィンドウ		V02-00
281	LPAR Select フレーム		V02-00
282	選択可能 LPAR 一覧	選択 (Activate) 可能な LPAR 一覧から Activate する LPAR を選択する	V02-00
283	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
284	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
285	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
286	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
287	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
288	Deactivate LPAR ボタン	Deactive LPAR ウィンドウを開く	V02-00

289		Deactive LPAR ウィンドウ	V02-00
290		LPAR Select フレーム	V02-00
291		選択可能 LPAR 一覧	選択 (Deactivate) 可能な LPAR 一覧から Deactivate する LPAR を選択する
292		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
293		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
294		OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる
295		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
296		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
297		Reactive LPAR ボタン	Reactive LPAR ウィンドウを開く
298		Reactive LPAR ウィンドウ	V02-00
299		LPAR Select フレーム	V02-00
300		選択可能 LPAR 一覧	選択 (Reactive) 可能な LPAR 一覧から Reactive する LPAR を選択する
301		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
302		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
303		OK ボタン	LPAR を Reactive し、本ウィンドウを閉じる
304		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
305		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
306		Add LPAR ボタン	Add LPAR ウィンドウを開く
307		Add LPAR ウィンドウ	V02-00
308		LPAR Select フレーム	V02-00
309		選択可能 LPAR 一覧	選択 (定義) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を選択する
310		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
311		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
312		OK ボタン	LPAR を定義し、本ウィンドウを閉じる
313		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
314		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
315		Remove LPAR ボタン	Remove LPAR ウィンドウを開く
316		Remove LPAR ウィンドウ	V02-00
317		LPAR Select フレーム	V02-00
318		選択可能 LPAR 一覧	選択 (削除) 可能な LPAR 一覧から削除する LPAR を選択する
319		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
320		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
321		OK ボタン	LPAR を削除し、本ウィンドウを閉じる
322		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
323		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
324		Screen ボタン	LPAR Screen ウィンドウを開く

325	LPAR Screen ウィンドウ		V02-00
326	LPAR Select フレーム		V02-00
327	選択可能 LPAR 一覧	選択 (LPAR Screen 表示) 可能な LPAR 一覧から LPAR Screen に表示する LPAR を選択する	V02-00
328	OK ボタン	LPAR Screen を開く	V02-00
329	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
330	Remote KVM ボタン	リモートコンソールに接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
331	Save Config ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	V02-00
332	Save Configuration ウィンドウ		V02-00
333	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ Save Configuration Finish ウィンドウを開く	V02-00
334	Save Configuration Finish ウィンドウ		V02-00
335	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
336	Cancel ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
337	Logical Partition Configuration スクリーン		V02-00
338	Logical Partition Configuration メニュー		V02-00
339	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
340	Name	LPAR 名称を表示・変更する	V02-00
341	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
342	Schedule	スケジューリングモードを表示・変更する	V02-00
343	Proc	LPAR に割り当てる論理プロセッサ数を表示・変更する	V02-00
344	Group#	プロセッサグループ番号を表示・変更する	V02-00
345	Service Ratio	LPAR が物理プロセッサを使用する時間 (サービス時間) の相対的な配分を 1 ~ 999 の範囲の値で表示・変更する	V02-00
346	Memory	The Memory Size ウィンドウを開く	V02-00
347	The Memory Size ウィンドウ		V02-00
348	The memory size in MB メニュー		V02-00
349	+1024 ボタン	メモリ容量の設定を 1024MB 単位で増やす	V02-00
350	+256 ボタン	メモリ容量の設定を 256MB 単位で増やす	V02-00
351	-256 ボタン	メモリ容量の設定を 256MB 単位で減らす	V02-00
352	-1024 ボタン	メモリ容量の設定を 1024MB 単位で減らす	V02-00
353	memory size in MB	変更中のメモリ容量を表示する	V02-00
354	Input the memory size in GB メニュー		V02-00
355	memory size in GB	メモリ容量の設定を 1GB 単位で増減する	V02-00
356	Information メニュー		V02-00
357	Maximum Size	LPAR に割り当てられているメモリの総量を表示する	V02-00
358	Effective Max	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	V02-00
359	Allocate Status	変更中のメモリ容量で LPAR が Activate 可能であることを表示する	V02-00

360		OK ボタン	変更したメモリ容量を反映し、本ウインドウを閉じる	V02-00
361		Cancel ボタン	本ウインドウを閉じる	V02-00
362		VNIC Count	LPAR に割り当てられた仮想 NIC 数を表示する	V02-00
363		Idle Detection	論理プロセッサのアイドル状態を検出する機能の有効/無効を表示・変更する	V02-00
364		Auto Act	HVM 起動時の LPAR 自動 Activate 設定を表示・変更する	V02-00
365		Auto Clear SEL	論理 SEL の自動クリア機能の有効/無効を表示・変更する	V02-00
366		Proc Capping	プロセッサキャッピング機能の有効/無効を表示・変更する	V02-00
367		Virtual Console	仮想 COM コンソール機能の有効/無効、または VC 番号表示・変更する	V02-00
368		Pre-Boot Firmware	Pre-boot ファームウェアを表示する	V02-00
369	Logical Information メニュー			V02-00
370		Assign Total	LPAR に割り当てられている各資源総量を表示する	V02-00
371		Act Total	LPAR が使用している (Activate 状態) の各資源総量を表示する	V02-00
372		Remain	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	V02-00
373	Physical Information メニュー			V02-00
374		User Memory	LPAR に割り当てできるメモリの総量を MB 単位で表示する	V02-00
375		Processors	物理プロセッサの総数を表示する	V02-00
376		Shared	共有モードの物理プロセッサの総数を表示する	V02-00
377		Dedicate	占有モードの物理プロセッサの総数を表示する	V02-00
378		Memory Allocate ボタン	Memory Allocation Display ウインドウを開く	V02-00
379	Memory Allocation Display ウインドウ			V02-00
380	Memory Allocation Display フレーム			V02-00
381		メモリ使用状況一覧	メモリの使用状況を表示する	V02-00
382		Activate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Activate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
383		Deactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Deactivate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
384		Reactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Reactivate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
385		Add LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Add LPAR ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
386		Remove LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Remove LPAR ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
387		Screen ボタン	Menu スクリーンの「Screen ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
388		Remote KVM ボタン	Menu スクリーンの「Remote KVM ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
389		Cancel ボタン	HVM Configuration ウインドウを開く	V02-00

390	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
391	OK ボタン	本スクリーンでの変更を無効にし、本ウィンドウを閉じる	V02-00
392	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
393	Commit ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
394	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
395	OK ボタン	本スクリーンでの変更を有効にし、本ウィンドウを閉じる	V02-00
396	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
397	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
398	Logical Processor Configuration スクリーン		V02-00
399	Logical Processor Configuration メニュー		V02-00
400	View Data メニュー	Logical Processor Configuration メニューの表示方法を選択する	V02-02
401	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
402	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
403	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
404	Schedule	スケジューリングモードを表示する	V02-00
405	Proc	LPAR に割り当てた論理プロセッサ数を表示する	V02-00
406	Group#	プロセッサグループ番号を表示する	V02-00
407	Logical Processor Number	各 LPAR に割り当てる論理プロセッサを表示・変更する	V02-00
408	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
409	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
410	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
411	Physical Processor Configuration スクリーン		V02-00
412	Physical Processor Configuration メニュー		V02-00
413	Proc#	物理プロセッサ番号を表示する	V02-00
414	Blade#	物理プロセッサが搭載されているサーバブレード番号を表示する	V02-00
415	Socket#	サーバブレード内のソケット番号を表示する	V02-00
416	Core#	コア番号を表示する	V02-00
417	Thread#	スレッド番号を表示する	V02-00
418	Core State	コアのステータスを表示する	V02-00
419	Proc State	物理プロセッサのステータスを表示する	V02-00
420	Group#	プロセッサグループ番号を表示・変更する	V02-00
421	Schedule	当該物理プロセッサのスケジューリングモードを表示する	V02-00
422	Freq (GHz)	物理プロセッサの現在の動作周波数を表示する	V02-00

423	Processor Group Configuration メニュー		V02-00
424	Group#	プロセッサグループ番号を表示する	V02-00
425	Group Name	プロセッサグループ名称を表示・変更する	V02-00
426	Total Core	コア数の総数を表示する	V02-00
427	Shared Core	共有モードのコア数を表示する	V02-00
428	Dedicate Core	占有モードのコア数を表示する	V02-00
429	Add Group ボタン	Add Processor Group ウィンドウを開く	V02-00
430	Add Processor Group ウィンドウ		V02-00
431	Group Number Select フレーム		V02-00
432	選択可能 Processor Group 一覧	選択(定義)可能な Processor Group 一覧から定義する Processor Group を選択する	V02-00
433	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
434	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
435	OK ボタン	Processor Group を定義し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
436	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
437	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
438	Remove Group ボタン	Remove Processor Group ウィンドウを開く	V02-00
439	Remove Processor Group ウィンドウ		V02-00
440	Group Number Select フレーム		V02-00
441	選択可能 Processor Group 一覧	選択(削除)可能な Processor Group 一覧から定義する Processor Group を選択する	V02-00
442	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
443	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
444	OK ボタン	Processor Group を削除し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
445	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
446	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
447	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
448	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
449	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を ご参照ください	V02-00

450	PCI Device Information スクリーン		V02-00
451	PCI Device Information メニュー		V02-00
452	PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	V02-00
453	Slot#	当該 PCI デバイスが搭載されているスロット番号を表示する	V02-00
454	LPAR#	当該 PCI デバイスが割り当てられている LPAR 番号、または割り当て状況を表示する	V02-00
455	Shared NIC#	当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC 番号を表示する	V02-00
456	Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	V02-00
457	Device Name	当該 PCI デバイスの名称を表示する	V02-00
458	Vendor	当該 PCI デバイスのベンダ名称を表示する	V02-00
459	Mapping Info ボタン	PCI Device Mapping Information ウィンドウを開く	V02-02
460	PCI Device Mapping Information ウィンドウ		V02-02
461	Select LPAR [Multiple Selection]メニュー		V02-02
462	#	LPAR 番号を表示する	V02-02
463	Name	LPAR 名称を表示する	V02-02
464	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-02
465	PCI Device Mapping Information		V02-02
466	<->ボタン	Host PciConfig と LPAR PciConfig の表示を入れ替える	V02-02
467	#	LPAR 番号を表示する	V02-02
468	Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	V02-02
469	Schedule	当該 PCI デバイスのスケジューリングモードを表示する	V02-02
470	ID	物理 PCI デバイスのスケジューリングモードが共有モードの場合、その LPAR が使用している ID を表示する 当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 仮想 NIC である場合、仮想 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 共有 FC である場合、vfcID を表示する	V02-02
471	Slot#	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイスの物理搭載位置を表示する 【LPAR PciConfig】 論理 PCI デバイスの搭載位置を表示する	V02-02
472	PCI Config Address	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイス、および仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスを表示する 【LPAR PciConfig】 LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスを表示する	V02-02
473	Matching	物理 PCI デバイスまたは仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスと、LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスが一致している場合は「Match」を、一致していない場合は「UnMatch」を表示する	V02-02

474	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
475	PCI Device Assignment スクリーン		V02-00
476	PCI Device Assignment メニュー		V02-00
477	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
478	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
479	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
480	PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	V02-00
481	Type	PCI デバイスの種類を表示する	V02-00
482	Schedule	PCI デバイスのスケジューリングモードを表示・変更する	V02-00
483	PCI Device Assignment	各 LPAR に PCI デバイスの割り当てを表示・変更する	V02-00
484	Selected PCI Device Information メニュー		V02-00
485	PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	V02-00
486	Slot#	スロット番号を表示する	V02-00
487	Bus#	PCI コンフィギュレーション空間のバス番号を表示する	V02-00
488	Dev#	PCI コンフィギュレーション空間のデバイス番号を表示する	V02-00
489	Func#	PCI コンフィギュレーション空間のファンクション番号を表示する	V02-00
490	Device Name	デバイス名称を表示する	V02-00
491	Vendor	ベンダ名称を表示する	V02-00
492	Attach/Detach ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	V02-00
493	USB Attach/Detach ウィンドウ		V02-00
494	OK ボタン	USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
495	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
496	Set/Reset ボタン	USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウを開く USB Auto Allocation to LPAR が Enable の時に表示される	V02-04
497	USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウ		V02-04
498	OK ボタン	USB 自動 Attach 設定の Set/Reset の切り替えを実施し、本ウィンドウを閉じる	V02-04
499	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-04
500	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
501	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
502	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
503	VNIC Assignment スクリーン		V02-00
504	VNIC Assignment メニュー		V02-00
505	Assign Mode メニュー	NIC の割り当て方式を選択する	V02-02
506	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
507	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00

508	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
509	Device Type	VNIC Device Type を表示・変更する (BS500 では表示されない)	V02-04
510	Total	LPAR に割り当てられた仮想 NIC の総数を表示する	V02-00
511	Virtual NIC Number	各 LPAR に対して仮想 NIC の割り当てを表示・変更する	V02-00
512	Virtual NIC Setting メニュー		V02-00
513	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
514	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
515	VNIC#	仮想 NIC 番号を表示する	V02-00
516	MAC Address	当該仮想 NIC の MAC アドレスを表示する	V02-00
517	Segment	当該仮想 NIC の割り当てを表示する	V02-00
518	Shared NIC#	当該仮想 NIC に対応する共有 NIC 番号を表示する	V02-00
519	VLAN Mode	当該仮想 NIC の VLAN モードを表示・変更する	V02-00
520	VLAN ID	定義されている VLAN ID を表示・変更する	V02-00
521	Promiscuous Mode	プロミスキャスモードを表示・変更する	V02-00
522	Packet Filter	当該仮想 NIC の LPAR 間通信パケットフィルタを表示・変更する	V02-00
523	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
524	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
525	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
526	Shared FC Assignment スクリーン		V02-00
527	Shared FC Assignment メニュー		V02-00
528	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
529	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
530	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
531	Shared FC#	共有 FC 番号を表示する	V02-00
532	Slot#	FC が接続されている PCI スロット番号を表示する	V02-00
533	Port#	共有 FC のポート番号を表示する	V02-00
534	Status	共有 FC ポートの状態を表示する	V02-00
535	Shared FC Assignment	各 LPAR に対して共有 FC ポートの割り当てを表示・変更する 共有 FC ポートの割り当ては、カーソルで選択した共有 FC ポートに対して、vfcID を設定する	V02-00
536	Shared Virtual FC Port WNN Information / Boot Function Setting メニュー		V02-00
537	Shared FC#	共有 FC 番号を表示する	V02-00
538	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
539	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
540	vfcID	当該共有 FC に設定されている vfcWNN-ID を表示する	V02-00
541	WWPN	当該共有 FC の WWPN を表示する	V02-00
542	WNNN	当該共有 FC の WNNN を表示する	V02-00
543	Boot Function	当該共有 FC の Boot Function を表示・変更する	V02-01

544	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
545	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
546	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
547	Allocated FC Information スクリーン		V02-00
548	Allocated FC Information メニュー		V02-00
549	vfc Seed info.	WWN 生成に使用している Vfc シード情報を表示する	V02-00
550	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
551	Slot#	FC が接続されている物理 Slot 番号を表示する	V02-00
552	Port#	FC の Port 番号を表示する	V02-00
553	Schedule	FC のスケジューリングモードを表示する	V02-00
554	vfcID	割り当て FC が共有モードの場合は、設定されている vfcWWNID を表示する	V02-00
555	WWPN	FC の World Wide Port Name を表示する	V02-00
556	WWNN	FC の World Wide Node Name を表示する	V02-00
557	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
558	System Configuration スクリーン		V02-00
559	System Configuration メニュー		V02-00
560	HVM メニュー		V02-00
561	HVM ID	HVM を識別する ID を表示・変更する	V02-00
562	HVM IP Address	HVM IP Address を表示・変更する	V02-00
563	Subnet Mask	サブネットマスクを表示・変更する	V02-00
564	Default Gateway	Default Gateway の IP Address を表示・変更する	V02-00
565	SVP IP Address	SVP の IP Address を表示する (BS500 のみ表示される)	V02-04
566	Management Path	管理パスに使用する NIC の PCI デバイス番号を表示・変更する	V02-00
567	VNIC System No.	仮想 NIC の MAC アドレスの一部として使用する値 (すべての HVM システムと重複しない値) を表示・設定する	V02-00
568	Alert Language	HVM のアラートメッセージの言語を表示・設定する	V02-00
569	Virtual Console Port	LPAR ゲストコンソールに Telnet 接続する TCP ポートを表示・設定する	V02-00
570	Hvm Operating Mode	HVM 動作モードを表示・変更する	V02-02
571	BSM メニュー		V02-00
572	BSMx IP Address	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) IP Address を表示・変更する	V02-00
573	BSMx Alert Port	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) Alert Port を表示・変更する	V02-00

574		HVM CLI メニュー		V02-01
575		HVM CLIx IP Address	HVM CLI IP Address を表示・変更する	V02-01
576		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
577		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
578		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
579		System Service State スクリーン		V02-00
580		System Service State メニュー		V02-00
581		System Service メニュー		V02-00
582		SVP Access	SerVice Processor (SVP) アクセスの状態を表示する	V02-00
583		BMC Access	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) アクセスの状態を表示する	V02-00
584		HA Monitor	HA Monitor の状態を表示する	V02-00
585		NTP	NTP の状態を表示する	V02-02
586		Hardware Component メニュー		V02-00
587		BMC	物理 Baseboard Management Controller (BMC) の状態を表示する	V02-00
588		Internal Path State メニュー		V02-00
589		Connect	内部バスの状態を表示する	V02-00
590		Service State List		V02-02
591		Split Style メニュー	Virtual LAN Segment State メニューと Shared PCI Device Port State メニューの整列形式を指定する	V02-02
592		View Style メニュー	Virtual LAN Segment State メニューと Shared PCI Device Port State メニューの表示形式を指定する	V02-02
593		Virtual LAN Segment State メニュー		V02-00
594		Port#/NIC#	ポート番号 (a、b、c、d)、NIC 番号 (V、1 ~ 6) を表示する	V02-00
595		Virtual LAN Segment State	仮想 LAN セグメントの状態を表示する	V02-00
596		Shared PCI Device Port State メニュー		V02-00
597		Type	PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリングモードが共有になっている PCI デバイスの種類を表示する	V02-00
598		NIC#	Type が N の場合、共有 NIC 番号 (1~6) を表示する	V02-00
599		Port#/Slot#	ポート番号 (0、1、2、3)、スロット番号を表示する	V02-00
600		Shared PCI Device Port State	PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリングモードが共有になっている PCI デバイスの状態を表示する	V02-00
601		Force Recovery ボタン	Force Recovery ウィンドウを開く	V02-00
602		Force Recovery ウィンドウ		V02-00
603		OK ボタン	強制リカバリを実施し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
604		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00

605	HVM Shutdown ボタン	HVM Shutdown ウィンドウを開く	V02-00
606	HVM Shutdown ウィンドウ		V02-00
607	OK ボタン	HVM を Shutdown し、HVM Shutdown Finish ウィンドウを開く	V02-00
608	HVM Shutdown Finish ウィンドウ		V02-00
609	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
610	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
611	HVM Reboot ボタン	HVM Reboot ウィンドウを開く	V02-02
612	HVM Reboot ウィンドウ		V02-02
613	OK ボタン	HVM を再起動し、本ウィンドウを閉じる	V02-02
614	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-02
615	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
616	Date And Time スクリーン		V02-04
617	Date And Time メニュー		V02-04
618	#	LPAR 番号を表示する	V02-04
619	Name	LPAR 名称を表示する	V02-04
620	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-04
621	LPAR RTC Date And Time	LPAR の RTC 時刻を表示する	V02-04
622	Last Activated	LPAR の最終 Act 時刻を表示する	V02-04
623	Last Deactivated	LPAR の最終 Deact 時刻を表示する	V02-04
624	Time Difference	System RTC と LPAR RTC との差分を表示する	V02-04
625	Check Status	時刻ずれのステータスを表示する	V02-04
626	System Date And Time メニュー		V02-04
627	System Time	システム装置時刻（物理 RTC 時刻）を表示する	V02-04
628	System Time Zone	HVM システム時刻ゾーンを表示・変更する	V02-04
629	NTP Setting メニュー		V02-04
630	Time Setting Import	NTP 設定をインポートしている先を表示する	V02-04
631	Time Sync	時刻同期設定を表示・変更する	V02-04
632	NTP Server1	NTP サーバ1の IP Address を表示・変更する	V02-04
633	NTP Server2	NTP サーバ2の IP Address を表示・変更する	V02-04
634	NTP	NTP の状態を表示する	V02-04
635	Import SVP ボタン	SVP に設定してある NTP 設定をインポートする	V02-04
636	Import BMC ボタン	BMC に設定してある NTP 設定をインポートする (BS2000、BS500 で表示される)	V02-04
637	Adjust Time ボタン	LPAR の RTC 時刻をシステム時刻に合わせる	V02-04
638	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-04
639	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の 説明をご参照ください	V02-04

640	HVM Options スクリーン		V02-00
641	HVM Options メニュー		V02-00
642	Pre-State Auto Activation	HVMシステムのシャットダウンを行わないでHVMが再起動した場合、LPARを再起動前と同じ状態に復帰させるかを表示・設定する	V02-00
643	HVM Auto Shutdown	すべてのLPARがDeactivate状態になったとき、HVMシステムのシャットダウンを行うかどうかを表示・設定する	V02-00
644	Shutdown State	HVMシステムのシャットダウン状態を表示する	V02-00
645	HVM Error Watching	HVM自身のハングアップ状態を検出するかを表示・設定する	V02-00
646	PhyCPU C-State (>=C3)	省電力機能を有効にするかを表示・設定する	V02-04
647	USB Auto Allocation to LPAR	USBの自動Attach設定を有効にするかを表示・設定する	V02-04
648	Save Changed Config Format	構成情報自動保存機能を有効にするかを表示・設定する	V02-04
649	Clear NVRAM ボタン	Clear NVRAM ウィンドウを開く	V02-00
650	Clear NVRAM ウィンドウ		V02-00
651	LPAR Select フレーム		V02-00
652	選択可能 LPAR 一覧	選択 (NVRAM の初期化) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を選択する	V02-00
653	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
654	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
655	OK ボタン	NVRAM を初期化し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
656	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
657	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
658	HVM Dump ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
659	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
660	OK ボタン	HVM Dump を採取し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
661	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
662	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
663	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
664	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00

665	HVM System Logs スクリーン		V02-00
666	HVM System Logs メニュー		V02-00
667	チェックボックス	複数項目ソートの有効/無効を設定する	V02-01
668	MultiSort	複数項目ソートの有効/無効を設定する	V02-01
669	SysLog Update ボタン	HVM システムログを更新する	V02-00
670	チェックボックス	表示する HVM システムログのレベルを表示・設定する	V02-00
671	Error	障害レベルの HVM システムログを表示する	V02-00
672	Warning	警告レベルの HVM システムログを表示する	V02-00
673	Info	情報レベルの HVM システムログを表示する	V02-00
674	Level	当該 HVM システムログのレベルを表示する	V02-00
675	Date	当該 HVM システムログが採取された日付を表示する	V02-00
676	Time	当該 HVM システムログが採取された時刻を表示する	V02-00
677	Event	当該 HVM システムログのイベントを表示する	V02-00
678	Detail	当該 HVM システムログのイベントの詳細情報を表示する	V02-00
679	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
680	Firmware Version Information スクリーン		V02-00
681	Firmware Version Information メニュー		V02-00
682	System Firmware メニュー		V02-00
683	HVM Firmware (Act)	HVM ファームウェアバージョンと HVM ファームウェアの内部バージョンを表示する	V02-00
684	HVM Firmware (Alt)	代替側の HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-00
685	BIOS	BIOS ファームウェアバージョンを表示する	V02-00
686	BMC	BMC ファームウェアバージョンを表示する	V02-00
687	HVM License Information メニュー		V02-00
688	HVM Model	HVM モデルを表示する	V02-00
689	HVM Serial No.	HVM シリアル番号を表示する	V02-00
690	Valid Through	HVM ライセンスの有効期限を表示する	V02-00
691	Hitachi Fibre Channel Firmware		V02-00
692	Firmware Version	当該スロット番号の FC 拡張カードのファームウェアバージョンを表示する	V02-00
693	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-00

694	Boot Setting スクリーン		V02-01
695	コンボボックス	ブート設定対象の LPAR を選択する	V02-01
696	Boot Order Update ボタン	ブートオーダを更新する	V02-01
697	Boot Order	設定済みブートデバイスのリストを表示する	V02-01
698	↑ ボタン	ブートデバイスの優先順位を上げる	V02-01
699	↓ ボタン	ブートデバイスの優先順位を下げる	V02-01
700	↑ Add ボタン	ブートデバイスリストに追加	V02-01
701	↓ Remove ボタン	ブートデバイスリストから削除	V02-01
702	Excluded Boot Order	未設定ブートデバイスのリストを表示する	V02-01
703	FC HBA Setting	ブートデバイスの HBA の Boot Enable を表示・更新する	V02-01
704	Detail Setting	ブートデバイスの HBA の詳細設定を表示・更新する	V02-01
705	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	V02-01
706	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	V02-01
707	Related Console ウィンドウ		V02-00
708	コンボボックス	LPAR Make ウィンドウの「コンボボックス」の説明をご参照ください	V02-00
709	HVM Information フレーム	LPAR Make ウィンドウの「HVM Information フレーム」の説明をご参照ください	V02-00
710	Update(U) ボタン	LPAR Make ウィンドウの「Update ボタン」の説明をご参照ください	V02-00
711	Set SVP Info ボタン	Set SVP Info ウィンドウを開く	V02-01
712	Set SVP Info ウィンドウ		V02-01
713	SVP IP Address テキストボックス	SVP IP Address を入力	V02-01
714	User ID テキストボックス	User ID を入力	V02-01
715	Password テキストボックス	Password を入力	V02-01
716	OK ボタン	入力内容を反映して Set SVP Info ウィンドウを閉じる	V02-01
717	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set SVP Info ウィンドウを閉じる	V02-01
718	Set BMC Info ボタン	Set BMC Info ウィンドウを開く	V02-01
719	Set BMC Info ウィンドウ		V02-01
720	BMC IP Address テキストボックス	BMC IP Address を入力	V02-01
721	User ID テキストボックス	User ID を入力	V02-01
722	Password テキストボックス	Password を入力	V02-01
723	OK ボタン	入力内容を反映して Set BMC Info ウィンドウを閉じる	V02-01
724	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set BMC Info ウィンドウを閉じる	V02-01

725	Chassis Information メニュー		V02-00
726	Chassis ID	シャーシの ID を表示する	V02-00
727	Chassis Type	シャーシの種別を表示する	V02-00
728	Chassis S/N	シャーシのシリアル番号を表示する	V02-00
729	SVP Information メニュー		V02-00
730	SVP IP Address	SVP の IP アドレスを表示する	V02-00
731	User ID	SVP のユーザアカウントを表示する	V02-00
732	Update Time	SVP を更新した時間を表示する	V02-00
733	Partition Information メニュー		V02-00
734	Partition#	パーティション番号を表示する	V02-00
735	Blade S/N	パーティションのシリアル番号を表示する	V02-00
736	HVM Information メニュー		V02-00
737	HVM ID	HVM の ID を表示する	V02-00
738	HVM IP Address	HVM の IP アドレスを表示する	V02-00
739	F/W Version	HVM のファームウェアバージョンを表示する	V02-00
740	System Console (Web) ボタン	SVP の System Console (Web) を開く	V02-00
741	System Console (Telnet) ボタン	SVP の System Console (Telnet) を開く	V02-00
742	HVM Screen ボタン	HVM Console を開く	V02-00

5 モニタリング

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Monitoring タブ)		V01-00
2	HVM List フレーム	モニタリングのステータスを表示 Total: モニタリング機能を利用できる HVM 数を表示 Run: モニタリング中の HVM 数を表示 Stop: モニタリングを停止している HVM 数を表示 Fail: モニタリングに失敗している HVM 数を表示 Error: モニタリングのエラー停止中の HVM 数を表示	V02-02
3	チェックボックス	【チェックをつける】 複数 HVM 操作ボタンの操作対象になる 複数 HVM 操作ボタンは、以下のフレームに含まれるボタン (1) List Operation フレーム (2) Monitor Action フレーム (3) Graph Viewer フレーム (ただし、Use BackUp ボタンを除く) ※ヘッダのチェックボックスにチェックをつけると すべての HVM が操作対象になる 【チェックを外す】 複数 HVM 操作ボタンの操作対象から外れる ※ヘッダのチェックボックスからチェックを外すと すべての HVM が操作対象から外れる	V01-00
4	HVM ID 列	HVM ID を表示	V01-00
5	Interval (s) 列ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	V01-00
6	Start Monitor 列 Start ボタン	モニタリングを開始	V01-00
7	Stop Monitor 列 Stop ボタン	モニタリングを停止	V01-00
8	Realtime View 列 View ボタン	CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く	V02-00
9	History View 列 View ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	V02-00
10	Information 列 Information ボタン	Monitor Information ウィンドウを開く	V01-00
11	Log Manage 列 Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V01-00
12	Threshold 列 Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	V01-00
13	List Operation フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	V01-00
14	Set Interval ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	V01-00
15	Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V01-00
16	Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	V01-00

17	Monitor Action フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	V01-00
18	Start ボタン	サブウインドウ (Monitor Start ウインドウ) を開く	V01-00
19	Monitor Start ウインドウ		V01-00
20	リスト	モニタリング開始対象の HVM を表示	V01-00
21	OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを開始し 本ウインドウを閉じる	V01-00
22	Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの開始を取り止め 本ウインドウを閉じる	V01-00
23	Stop ボタン	サブウインドウ (Monitor Stop ウインドウ) を開く	V01-00
24	Monitor Stop ウインドウ		V01-00
25	リスト	モニタリング停止対象の HVM を表示	V01-00
26	OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを停止し 本ウインドウを閉じる	V01-00
27	Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの停止を取り止め 本ウインドウを閉じる	V01-00
28	Graph Viewer フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	V01-00
29	Realtime ボタン	【1つの HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer ウインドウを開く 【複数の HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer [Multi]ウインドウを開く	V02-00
30	History ボタン	CPU History Viewer ウインドウを開く	V02-00
31	Use Backup ボタン	サブウインドウ (フォルダの参照ウインドウ) を開く	V01-00
32	フォルダの参照ウインドウ		V01-00
33	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
34	Set Interval ウインドウ		V01-00
35	リスト	サンプリング間隔指定対象の HVM を表示	V01-00
36	Interval (1-300) テキストボックス	サンプリング間隔を入力 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	V01-00
37	OK ボタン	サンプリング間隔を入力値に設定し、本ウインドウを閉じる	V01-00
38	Cancel ボタン	サンプリング間隔を設定せず、本ウインドウを閉じる	V01-00
39	Monitor Information ウインドウ		V01-00
40	HVM Information フレーム	HVM ID と HVM IP アドレスを表示	V01-00
41	Monitor Information フレーム	Status、Logging Start Time および Logging Last Update を表示	V01-00
42	Last Error Message テキストボックス	最新のエラーメッセージを表示	V01-00
43	Refresh ボタン	Monitor Information フレーム内の表示を更新	V01-00
44	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00

45	CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		V02-00
46	メニューリスト(Graph Style)		V01-00
47	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
48	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
49	Bar	棒グラフで表示	V01-01
50	メニューリスト(Graph Size)		V01-00
51	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V01-00
52	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V01-00
53	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行 1LPAR ずつ表示	V01-00
54	メニューリスト(Legend)		V01-00
55	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
56	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
57	メニューリスト(Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる(条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
58	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	V01-00
59	Group	プロセスグループごとにグラフ表示	V01-01
60	CPU	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	V02-03
61	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる(条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
62	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
63	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
64	メニューリスト(Refresh Interval)		V01-00
65	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	V01-00
66	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	V01-00
67	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	V01-00
68	HVM Information フレーム		V01-00
69	HVM ID	HVM ID を表示	V01-00
70	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	V01-00
71	I/O View フレーム		V02-00
72	NIC ボタン	NIC Realtime Viewer ウィンドウを開く	V02-00
73	Physical CPU Summary グラフ		V01-00
74	メニューリスト(Graph Style)		V01-01
75	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
76	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V01-00
77	Bar	棒グラフで表示	V01-01
78	メニューリスト(Usage Rate)		V02-02
79	System Base	全物理 CPU 基準で表示(デフォルト)	V02-02
80	Resource Base (Graph Style が Bar の場合のみ)	CPU リソース基準で表示	V02-02
81	メニューリスト(Legend)		V01-00
82	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
83	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00

84	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
85	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
86	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-01
87	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal、Group 時	V02-03
88	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V01-01
89	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V01-01
90	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V01-01
91	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V01-01
92	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が CPU 時	V02-03
93	256	グラフの表示領域を 256 に変更する	V02-03
94	128	グラフの表示領域を 128 に変更する	V02-03
95	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
96	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
97	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
98	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
99	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
100	メニューリスト (LPAR Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに LPAR Sort が加わる	V01-01
101	OFF	ソートしないでグラフ表示	V01-01
102	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-02
103	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
104	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
105	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
106	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V01-01
107	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
108	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
109	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
110	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
111	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	V02-02
112	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
113	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
114	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
115	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	V01-01
116	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	V01-01
117	OFF	数値表示を無効にする	V01-01
118	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
119	コンテキストメニュー		V01-00
120	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
121	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
122	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00

123	Each CPU	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP]ウィンドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-02
124	View Snap Graph	サブウィンドウ(CPU Realtime Viewer ウィンドウ)を表示	V02-03
125	Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ		V02-02
126	メニューリスト (Legend)		V02-02
127	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-02
128	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-02
129	メニューリスト (Scale)		V02-02
130	100	グラフの表示領域を 100 に変更する(デフォルト)	V02-02
131	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-02
132	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-02
133	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-02
134	メニューリスト (Sort)		V02-02
135	OFF	ソートしないでグラフ表示(デフォルト)	V02-02
136	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-02
137	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
138	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
139	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
140	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
141	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V02-02
142	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-02
143	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
144	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
145	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
146	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
147	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	V02-02
148	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
149	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
150	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
151	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02

152	メニューリスト (Value)		V02-02
153	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-02
154	OFF	数値表示を無効にする	V02-02
155	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-02
156	コンテキストメニュー		V02-02
157	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-02
158	View Max/Ave	サブウィンドウ(View Max/Ave Data for Each CPU)を表示	V02-02
159	View Raw Data	サブウィンドウ(View Raw Data for Each CPU)を表示	V02-02
160	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
161	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
162	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
163	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
164	色の設定ウィンドウ		V02-02
165		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	V02-02
166	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V01-01
167	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V01-01
168	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change で Normal が選択されて いる場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change で Group が選択されて いる場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V01-01

169	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V01-00
170	メニューリスト (Graph Style)		V01-01
171	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V01-00
172	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
173	Bar	棒グラフで表示	V02-02
174	メニューリスト (Graph Size)		V01-00
175	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V01-00
176	Fixed Size	固定サイズで表示	V01-00
177	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	V01-00
178	メニューリスト (Usage Rate)		V01-01
179	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	V02-02
180	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V01-00
181	Service Rate Base	サービス率基準で表示	V01-00
182	メニューリスト (Legend)		V01-00
183	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V01-00
184	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
185	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
186	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
187	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
188	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal、Group 時	V02-03
189	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-02
190	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-02
191	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-02
192	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-02
193	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が CPU 時	V02-03
194	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
195	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
196	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
197	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
198	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
199	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	V02-02
200	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	V02-02
201	OFF	数値表示を無効にする	V02-02
202	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
203	コンテキストメニュー		V01-00
204	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
205	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウインドウ) を表示	V01-00
206	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウインドウ) を表示	V01-00
207	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
208	View Snap Graph	サブウインドウ (CPU Realtime Viewer ウインドウ) を表示	V02-03
209	レジェンド	色の設定ウインドウの表示	V02-02
	色の設定ウインドウ		V02-02
210	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02

211	CPU Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ		V02-03
212	メニューリスト(Graph Style)		V02-03
213	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-03
214	Line	折れ線グラフで表示	V02-03
215	メニューリスト(Graph Size)		V02-03
216	Auto Size	Logical CPU グラフでウインドウサイズをチェックし 表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-03
217	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V02-03
218	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1行 1LPAR ずつ表示	V02-03
219	メニューリスト(Legend)		V02-03
220	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-03
221	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
222	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
223	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	V02-03
224	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	V02-03
225	CPU	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	V02-03
226	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
227	ON	CPU 不足率を表示	V02-03
228	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03
229	HVM Information フレーム		V02-03
230	HVM ID	HVM ID を表示	V02-03
231	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	V02-03
232	I/O View フレーム		V02-03
233	NIC ボタン	NIC Realtime Viewer ウインドウを開く	V02-03
234	Physical CPU Summary グラフ		V02-03
235	メニューリスト(Graph Style)		V02-03
236	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-03
237	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V02-03
238	メニューリスト(Usage Rate)		V02-03
239	System Base	全物理 CPU 基準で表示(デフォルト)	V02-03
240	メニューリスト(Legend)		V02-03
241	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-03
242	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
243	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
244	ON	CPU 不足率を表示	V02-03
245	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03
246	メニューリスト(Scale)		V02-03
247	100	メニューリスト(Data Change)が Normal、Group 時 グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-03
248	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-03
249	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-03
250	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-03

251	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が CPU 時	V02-03
252	256	グラフの表示領域を 256 に変更する	V02-03
253	128	グラフの表示領域を 128 に変更する	V02-03
254	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
255	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
256	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
257	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
258	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
259	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
260	コンテキストメニュー		V02-03
261	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
262	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
263	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
264	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (CPU Realtime Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03
265	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
266	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-03
267	色の設定ウィンドウ		V02-03
268	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-03
269	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V02-03
270	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V02-03
271	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V02-03

272	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V02-03
273	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
274	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-03
275	Line	折れ線グラフで表示	V02-03
276	メニューリスト (Graph Size)		V02-03
277	Auto Size	ウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-03
278	Fixed Size	固定サイズで表示	V02-03
279	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	V02-03
280	メニューリスト (Usage Rate)		V02-03
281	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	V02-03
282	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V02-03
283	Service Rate Base	サービス率基準で表示	V02-03
284	メニューリスト (Legend)		V02-03
285	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
286	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
287	メニューリスト (Insuff)		V02-03
288	ON	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
289	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03
290	メニューリスト (Scale)		V02-03
291	100	メニューリスト (Data Change) が Normal、Group 時 グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-03
292	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-03
293	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-03
294	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-03
295	メニューリスト (Scale)		V02-03
296	64	メニューリスト (Data Change) が CPU 時 グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
297	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
298	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
299	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
300	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
301	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
302	コンテキストメニュー		V02-03
303	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
304	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V02-03
305	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V02-03
306	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (CPU Realtime Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03
307	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
308	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-03
309	色の設定ウィンドウ		V02-03
310	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-03

311	NIC Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ		V02-00
312	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
313	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
314	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
315	Bar	棒グラフで表示	V02-00
316	メニューリスト(Graph Size)		V02-00
317	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-00
318	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	V02-00
319	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行1LPAR ずつ表示	V02-00
320	メニューリスト(Graph Data)		V02-00
321	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	V02-00
322	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-00
323	メニューリスト(Legend)		V02-00
324	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
325	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
326	メニューリスト(Usage)		V02-00
327	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	V02-00
328	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	V02-00
329	メニューリスト(Refresh Interval)		V02-00
330	1 sec	グラフ更新を1秒にする	V02-00
331	5 sec	グラフ更新を5秒にする(デフォルト)	V02-00
332	10 sec	グラフ更新を10秒にする	V02-00
333	Physical NIC Summary グラフ		V02-00
334	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
335	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
336	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V02-00
337	Bar	棒グラフで表示	V02-00
338	メニューリスト(Legend)		V02-00
339	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
340	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
341	メニューリスト(Value)		V02-00
342	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
343	OFF	数値表示を無効にする	V02-00
344	メニューリスト(Scale)		V02-03
345	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-00
346	10000 Mbps	グラフの表示領域を10000Mbpsに変更する	V02-00
347	7500 Mbps	グラフの表示領域を7500Mbpsに変更する	V02-03
348	5000 Mbps	グラフの表示領域を5000Mbpsに変更する	V02-03
349	2500 Mbps	グラフの表示領域を2500Mbpsに変更する	V02-03
350	1000 Mbps	グラフの表示領域を1000Mbpsに変更する	V02-00
351	750 Mbps	グラフの表示領域を750Mbpsに変更する	V02-03
352	500 Mbps	グラフの表示領域を500Mbpsに変更する	V02-03
353	250 Mbps	グラフの表示領域を250Mbpsに変更する	V02-03

354	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-00
355	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
356	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
357	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
358	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	V02-03
359	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	V02-00
360	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	V02-00
361	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	V02-00
362	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	V02-00
363	メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに NIC Sort が加わる	V02-00
364	OFF	ソートしないでグラフ表示	V02-00
365	ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V02-00
366	Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	V02-00
367	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	V02-00
368	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	V02-00
369	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line または Bar の場合 Port 基準で表示)	V02-00
370	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-00
371	コンテキストメニュー		V02-00
372	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
373	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	V02-00
374	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	V02-00
375	View Snap Data	サブウインドウ (View Snap Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	V02-00
376	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
377	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	V02-00

378	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p>	V02-00
379	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	<p>【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	V02-00
380	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		V02-00
381	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
382	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
383	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
384	Bar	棒グラフで表示	V02-00
385	メニューリスト(Graph Size)		V02-00
386	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-00
387	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	V02-00
388	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	V02-00
389	メニューリスト(Graph Data)		V02-00
390	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	V02-00
391	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-00
392	メニューリスト(Legend)		V02-00
393	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
394	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
395	メニューリスト(Scale)		V02-03
396	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-00
397	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-00
398	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
399	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
400	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
401	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-00
402	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
403	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
404	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
405	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-00
406	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03

407		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
408		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
409		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	V02-03
410		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	V02-00
411		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-00
412		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-00
413		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-00
414		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-00
415		コンテキストメニュー		V02-00
416		Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
417		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
418		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
419		View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
420		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02

421	NIC Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ		V02-03
422	メニューリスト(Graph Style)		V02-03
423	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-03
424	Line	折れ線グラフで表示	V02-03
425	メニューリスト(Graph Size)		V02-03
426	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-03
427	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	V02-03
428	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行1LPAR ずつ表示	V02-03
429	メニューリスト(Graph Data)		V02-03
430	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	V02-03
431	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-03
432	メニューリスト(Legend)		V02-03
433	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-03
434	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
435	メニューリスト(Usage)		V02-03
436	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	V02-03
437	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	V02-03
438	Physical NIC Summary グラフ		V02-03
439	メニューリスト(Graph Style)		V02-03
440	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-03
441	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V02-03
442	メニューリスト(Legend)		V02-03
443	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-03
444	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
445	メニューリスト(Scale) メニューリスト(Usage) が Usage (Mbps) 時		V02-03
446	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
447	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-03
448	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
449	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
450	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
451	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-03
452	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
453	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
454	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
455	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-03
456	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
457	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
458	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
459	メニューリスト(Scale) メニューリスト(Usage) が Usage Rate (%) 時		V02-03
460	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	V02-03
461	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	V02-03
462	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	V02-03
463	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	V02-03

464	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
465	コンテキストメニュー		V02-03
466	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
467	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
468	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
469	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (NIC History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03
470	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
471	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	V02-03
472	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	V02-03
473	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V02-03
474	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		V02-03
475	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
476	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-03
477	Line	折れ線グラフで表示	V02-03
478	メニューリスト (Graph Size)		V02-03
479	Auto Size	ウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-03
480	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	V02-03
481	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	V02-03
482	メニューリスト (Graph Data)		V02-03
483	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	V02-03
484	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-03

485	メニューリスト (Legend)		V02-03
486	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
487	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
488	メニューリスト (Scale) メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時		V02-03
489	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	V02-03
490	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-03
491	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
492	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
493	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
494	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-03
495	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
496	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
497	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
498	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-03
499	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
500	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
501	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
502	メニューリスト (Scale) メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時		V02-03
503	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	V02-03
504	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-03
505	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-03
506	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-03
507	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-03
508	コンテキストメニュー		V02-03
509	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
510	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-03
511	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-03
512	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (NIC History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03

513	CPU History Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ		V01-00
514	メニューリスト(File)		V01-01
515	Log Management	Monitor Log Management ウインドウを開く	V01-00
516	メニューリスト(Graph Style)		V01-01
517	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
518	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V01-00
519	メニューリスト(Graph Size)		V01-00
520	Auto Size	Logical CPU グラフでウインドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V01-00
521	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V01-00
522	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行 1LPAR ずつ表示	V01-00
523	メニューリスト(Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる(条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
524	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	V01-00
525	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	V01-01
526	CPU	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	V02-03
527	メニューリスト(Legend)		V01-00
528	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
529	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
530	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる(条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
531	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
532	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
533	HVM Information フレーム		V01-00
534	HVM ID	HVM ID を表示	V01-00
535	HVM IP	HVM IP を表示	V01-00
536	I/O View フレーム		V02-00
537	NIC ボタン	NIC History Viewer ウインドウを開く	V02-00
538	Scroll Zoom フレーム		V01-00
539	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	V01-00
540	History Setting フレーム		V01-00
541	Specific ラジオボタン	Specific:コンボボックスを入力可能にする(デフォルト)	V01-00
542	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	V01-01
543	Span ラジオボタン	Span:コンボボックスを入力可能にする	V01-00
544	Span コンボボックス	表示する期間を指定	V01-00
545	Graph View Type フレーム		V01-00
546	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示(1 日間まで表示可能)	V01-00
547	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示(31 日間まで表示可能)	V01-00
548	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示(デフォルト)	V01-00
549	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	V01-00
550	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	V01-00

551	Physical CPU Summary グラフ		V01-00
552	メニューリスト (Graph Style)		V01-01
553	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V01-00
554	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V01-00
555	メニューリスト (Usage Rate)		V02-02
556	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V02-02
557	メニューリスト (Legend)		V01-00
558	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V01-00
559	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
560	メニューリスト (Insuff)		V01-01
561	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
562	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
563	メニューリスト (Scale)		V02-03
564	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-03
565	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-03
566	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-03
567	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-03
568	メニューリスト (Scale)		V02-03
569	256	グラフの表示領域を 256 に変更する	V02-03
570	128	グラフの表示領域を 128 に変更する	V02-03
571	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
572	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
573	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
574	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
575	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
576	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
577	コンテキストメニュー		V01-00
578	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
579	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
580	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
581	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
582	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03
583	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
584	色の設定ウィンドウ		V02-02
585	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02

586	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V01-01
587	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V01-01
588	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change が Group の場合))	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V01-01
589	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V01-00
590	メニューリスト (Graph Style)		V01-01
591	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V01-00
592	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
593	メニューリスト (Graph Size)		V01-00
594	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V01-00
595	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V01-00
596	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	V01-00
597	メニューリスト (Usage Rate)		V01-01
598	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	V02-02
599	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V01-00
600	Service Rate Base	サービス率基準で表示	V01-00
601	メニューリスト (Legend)		V01-00
602	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V01-00
603	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00

604	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
605	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
606	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
607	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal、Group 時	V02-03
608	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-03
609	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-03
610	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-03
611	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-03
612	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が CPU 時	V02-03
613	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
614	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
615	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
616	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
617	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
618	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
619	コンテキストメニュー		V01-00
620	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
621	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V01-00
622	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V01-00
623	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03
624	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
625	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
626	色の設定ウィンドウ		V02-02
627	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02

628	CPU History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		V02-03
629	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
630	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	V02-03
631	メニューリスト (Graph Size)		V02-03
632	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-03
633	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V02-03
634	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1 LPAR ずつ表示	V02-03
635	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
636	Normal	LPAR ごとにグラフ表示 (デフォルト)	V02-03
637	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	V02-03
638	CPU	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	V02-03
639	メニューリスト (Legend)		V02-03
640	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
641	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
642	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
643	ON	CPU 不足率を表示	V02-03
644	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03
645	HVM Information フレーム		V02-03
646	HVM ID	HVM ID を表示	V02-03
647	HVM IP	HVM IP を表示	V02-03
648	Operation フレーム		V02-03
649	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	V02-03
650	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	V02-03
651	スクロールバー	表示したい時間を選択する	V02-03
652	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	V02-03
653	Physical CPU Summary グラフ		V02-03
654	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
655	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	V02-03
656	メニューリスト (Usage Rate)		V02-03
657	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V02-03
658	Resource Base	CPU リソース基準で表示	V02-03
659	メニューリスト (Legend)		V02-03
660	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
661	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
662	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V02-03
663	ON	CPU 不足率を表示	V02-03
664	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03
665	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal、Group 時	V02-03
666	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-03
667	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-03
668	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-03
669	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-03

670	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Core 時	V02-03
671	256	グラフの表示領域を 256 に変更する	V02-03
672	128	グラフの表示領域を 128 に変更する	V02-03
673	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
674	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
675	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
676	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
677	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
678	メニューリスト (Sort)		V02-03
679	OFF	ソートしないでグラフ表示(デフォルト)	V02-03
680	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-03
681	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
682	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
683	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
684	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
685	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V02-03
686	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-03
687	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
688	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
689	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
690	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
691	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	V02-03
692	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
693	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
694	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
695	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-03
696	メニューリスト (Value)		V02-03
697	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-03
698	OFF	数値表示を無効にする	V02-03
699	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
700	コンテキストメニュー		V02-03
701	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
702	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
703	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
704	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
705	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-03
706	色の設定ウィンドウ		V02-03
707		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	V02-03

708	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V02-03
709	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V02-03
710	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change が Group の場合))	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V02-03
711	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V02-03
712	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
713	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	V02-03
714	メニューリスト (Graph Size)		V02-03
715	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-03
716	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V02-03
717	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	V02-03
718	メニューリスト (Usage Rate)		V02-03
719	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	V02-03
720	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V02-03
721	Service Rate Base	サービス率基準で表示	V02-03
722	メニューリスト (Legend)		V02-03
723	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
724	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
725	メニューリスト (Insuff)		V02-03
726	ON	CPU 不足率を表示	V02-03
727	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03

728	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal、Group 時	V02-03
729	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-03
730	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-03
731	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-03
732	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-03
733	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Core 時	V02-03
734	64	グラフの表示領域を 64 に変更する	V02-03
735	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	V02-03
736	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	V02-03
737	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	V02-03
738	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	V02-03
739	メニューリスト (Value)		V02-03
740	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
741	OFF	数値表示を無効にする	V02-03
742	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
743	コンテキストメニュー		V02-03
744	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
745	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V02-03
746	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V02-03
747	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
748	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-03
749	色の設定ウィンドウ		V02-03
750	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-03

751	NIC History Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		V02-00
752	メニューリスト (File)		V02-00
753	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V02-00
754	メニューリスト (Graph Style)		V02-00
755	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-00
756	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
757	メニューリスト (Graph Size)		V02-00
758	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-00
759	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	V02-00
760	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行1LPAR ずつ表示	V02-00
761	メニューリスト (Graph Data)		V02-00
762	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	V02-00
763	LPAR	LPAR ごとに表示 (デフォルト)	V02-00
764	メニューリスト (Legend)		V02-00
765	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-00
766	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
767	メニューリスト (Usage)		V02-00
768	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示 (デフォルト)	V02-00
769	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	V02-00
770	HVM Information フレーム		V02-00
771	HVM ID	HVM ID を表示	V02-00
772	HVM IP	HVM IP を表示	V02-00
773	Scroll Zoom フレーム		V02-00
774	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	V02-00
775	History Setting フレーム		V02-00
776	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	V02-00
777	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	V02-00
778	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	V02-00
779	Span コンボボックス	表示する期間を指定	V02-00
780	Graph View Type フレーム		V02-00
781	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	V02-00
782	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	V02-00
783	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	V02-00
784	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	V02-00
785	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	V02-00
786	Physical NIC Summary グラフ		V02-00
787	メニューリスト (Graph Style)		V02-00
788	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-00
789	Line	NIC Port 毎に折れ線グラフで表示	V02-00
790	メニューリスト (Legend)		V02-00
791	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-00
792	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00

793	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	V02-00
794	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	V02-00
795	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト(Graph Style)が Line の場合に Port 基準で表示)	V02-00
796	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	V02-03
797	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
798	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-03
799	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
800	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
801	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
802	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-03
803	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
804	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
805	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
806	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-03
807	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
808	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
809	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
810	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	V02-03
811	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
812	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-03
813	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-03
814	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-03
815	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-03
816	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-00
817	コンテキストメニュー		V02-00
818	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
819	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00
820	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00
821	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
822	View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03
823	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	V02-00

824	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p>	V02-00
825	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	<p>【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	V02-00
826	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		V02-00
827	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
828	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
829	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
830	メニューリスト(Graph Size)		V02-00
831	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-00
832	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	V02-00
833	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	V02-00
834	メニューリスト(Graph Data)		V02-00
835	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	V02-00
836	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-00
837	メニューリスト(Legend)		V02-00
838	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
839	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
840	メニューリスト(Scale)		V02-03
841	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
842	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-03
843	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
844	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
845	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
846	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-03
847	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
848	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
849	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
850	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-03
851	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
852	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
853	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03

854		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	V02-03
855		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	V02-03
856		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-03
857		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-03
858		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-03
859		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-03
860		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-00
861		コンテキストメニュー		V02-00
862		Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
863		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
864		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
865		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
866		View Bar Graph	※グラフのデータ領域内でのみ表示 サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	V02-03

867	NIC History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		V02-03
868	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
869	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	V02-03
870	メニューリスト (Graph Size)		V02-03
871	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-03
872	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V02-03
873	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行1LPAR ずつ表示	V02-03
874	メニューリスト (Graph Data)		V02-03
875	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	V02-03
876	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-03
877	メニューリスト (Legend)		V02-03
878	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
879	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
880	メニューリスト (Insuff)		V02-03
		条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	
881	ON	CPU 不足率を表示	V02-03
882	OFF	CPU 不足率を非表示	V02-03
883	メニューリスト (Usage Rate)		V02-03
		Usage が Usage Rate (%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	
884	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	V02-03
885	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line の場合に Port 基準で表示)	V02-03
886	HVM Information フレーム		V02-03
887	HVM ID	HVM ID を表示	V02-03
888	HVM IP	HVM IP を表示	V02-03
889	Operation フレーム		V02-03
890	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	V02-03
891	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	V02-03
892	スクロールバー	表示したい時間を選択する	V02-03
893	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	V02-03
894	Physical CPU Summary グラフ		V02-03
895	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
896	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	V02-03
897	メニューリスト (Legend)		V02-03
898	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
899	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03

900	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	V02-03
901	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
902	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-03
903	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
904	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
905	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
906	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-03
907	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
908	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
909	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
910	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-03
911	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
912	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
913	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
914	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	V02-03
915	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
916	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-03
917	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-03
918	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-03
919	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-03
920	メニューリスト (Value)		V02-03
921	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-03
922	OFF	数値表示を無効にする	V02-03
923	メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに NIC Sort が加わる	V02-03
924	OFF	ソートしないでグラフ表示	V02-03
925	ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V02-03
926	Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	V02-03
927	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
928	コンテキストメニュー		V02-03
929	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
930	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
931	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V02-03
932	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
933	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-03
934	色の設定ウィンドウ		V02-03
935	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-03

936	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V02-03
937	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V02-03
938	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V02-03
939	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V02-03
940	メニューリスト (Graph Style)		V02-03
941	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	V02-03
942	メニューリスト (Graph Size)		V02-03
943	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-03
944	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V02-03
945	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	V02-03
946	メニューリスト (Graph Data)		V02-03
947	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	V02-03
948	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-03
949	メニューリスト (Legend)		V02-03
950	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
951	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-03
952	メニューリスト (Value)		V02-03
953	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	V02-03
954	OFF	数値表示を無効にする	V02-03

955	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	V02-03
956	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
957	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-03
958	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	V02-03
959	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	V02-03
960	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	V02-03
961	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-03
962	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	V02-03
963	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	V02-03
964	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	V02-03
965	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-03
966	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	V02-03
967	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	V02-03
968	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	V02-03
969	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	V02-03
970	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-03
971	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-03
972	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-03
973	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-03
974	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-03
975	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-03
976	コンテキストメニュー		V02-03
977	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-03
978	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V02-03
979	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V02-03
980	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-03
981	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-03
982	色の設定ウィンドウ		V02-03
983	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-03

984	Monitor Log Management ウィンドウ		V01-00
985	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	V01-00
986	Date Setting フレーム	設定機能の適応期間を指定 (Export To Csv タブ、BackUp Log タブ Clear Log タブを選択した場合のみ設定可能)	V01-00
987	ALL ラジオボタン	すべての日付が対象	V01-00
988	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする	V01-00
989	Specific コンボボックス	指定した日付のみ対象	V01-00
990	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	V01-00
991	Span コンボボックス	範囲指定した期間のみ対象	V01-00
992	Operation フレーム (Log Setting タブ)		V01-00
993	Output Folder Selection フレーム		V01-00
994	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	V01-00
995	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
996	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
997	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
998	Auto Clear History Log フレーム		V01-00
999	Enable Auto Clear チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を無効にする	V01-00
1000	Date keep Days テキストボックス	履歴情報ログ Interval ログを残しておく日数を指定 (1~100) デフォルト設定は 1 日	V01-00
1001	Auto BackUp History Log フレーム		V01-00
1002	Enable Auto BackUp チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を無効にする	V01-00
1003	BackUp Folder Selection フレーム		V01-00
1004	テキストボックス	履歴情報ログのバックアップファイル出力先を表示	V01-00
1005	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
1006	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
1007	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
1008	Data keep Days テキストボックス	バックアップファイルを残しておく日数を指定 (1~100) デフォルト設定は 1 日	V01-00
1009	Enable Clear Log after BackUp チェックボックス	【チェックあり】 バックアップ後、履歴情報ログを消去 【チェックなし】 バックアップ後、履歴情報ログを残す	V01-00

1010	Auto Average History Log フレーム		V01-01
1011	Enable Auto Average History Log チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動平均を有効にしてデータ採取 【チェックなし】 履歴情報ログの自動平均を無効にしてデータ採取	V01-00
	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔を選択 デフォルト設定は 5s	V01-00
1013	Save ボタン	設定した内容を保存	V02-00
1014	Operation フレーム (Export To Csv タブ)		V01-00
1015	Export Folder Selection フレーム		V01-00
1016	テキストボックス	CSV ファイル出力先フォルダを表示	V01-00
1017	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
1018	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
1019	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
1020	Output Unit Setting フレーム		V01-00
1021	All data to One File ボタン	全データを 1 つのファイルに出力 (デフォルト)	V01-00
1022	Different file at each date ボタン	日付毎にファイルに出力	V01-00
1023	Output Target Selection フレーム		V01-00
1024	コンボボックス	出力するデータのリソース種を選択	V02-02
1025	Interval ラジオボタン	収集した履歴情報ログの出力を指定	V01-00
1026	5Minutes ラジオボタン	履歴情報ログの 5 分平均データの出力を指定	V01-00
1027	1Hour ラジオボタン	履歴情報ログの 1 時間平均データの出力を指定	V01-00
1028	User ラジオボタン	履歴情報ログのユーザ指定時間平均データの出力を指定	V01-00
1029	Execute ボタン	設定した内容で実行	V01-00
1030	Operation フレーム (BackUp Log タブ)		V01-00
1031	BackUp Folder Selection フレーム		V01-00
1032	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	V01-00
1033	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定	V01-00
1034	Execute ボタン	設定した内容で実行	V01-00
1035	Operation フレーム (Clear Log タブ)		V01-00
1036	Clear Target Selection フレーム		V01-00
1037	ALL ラジオボタン	すべての集計時間の履歴情報ログを対象とする	V01-00
1038	Interval ラジオボタン	Interval で設定した履歴情報ログを削除対象とする	V01-00
1039	Execute ボタン	設定した内容で実行	V01-00
1040	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

1041	Monitor Threshold Management ウィンドウ		V01-00
1042	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	V01-00
1043	Operation フレーム(Threshold Setting タブ)		V01-00
1044	Threshold Monitoring フレーム		V01-00
1045	Auto Average History Log が有効時しきい値監視を行う	しきい値監視を行う	V01-00
1045	Enable Threshold Monitoring チェックボックス	【チェックあり】 しきい値設定を有効にする 【チェックなし】 しきい値設定を無効にする	V01-00
1046	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔(しきい値監視時間間隔)を選択 デフォルト設定は 5s	V01-01
1047	Threshold Mode フレーム		V01-01
1048	One Threshold Mode ラジオボタン	しきい値を 1 つ設定	V01-00
1049	Two Threshold Mode ラジオボタン	しきい値を 2 つ設定(デフォルト)	V01-00
1050	Threshold Count(1-100) テキストボックス	しきい値超過回数を入力 デフォルト設定は 1	V01-00
1051	Save ボタン	設定を保存	V02-00
1052	Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)		V01-01
1053	Physical CPU Threshold Setting フレーム		V01-01
1054	Caution(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率の注意しきい値を入力 (Two Threshold Mode のみ設定可能) デフォルト設定は 80	V01-00
1055	Error(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率のエラーしきい値を入力 デフォルト設定は 95	V01-00
1056	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold)	【チェックあり】 物理 CPU 使用率のしきい値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 使用率のしきい値設定を無効にする	V01-00
1057	Caution(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率の注意しきい値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode であり Two Threshold Mode のみ設定可能) デフォルト設定は 160	V01-00
1058	Error(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率のエラーしきい値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 190	V01-00
1059	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	【チェックあり】 物理 CPU 不足率のしきい値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 不足率のしきい値設定を無効にする (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)	V01-00
1060	Save ボタン	設定を保存	V01-00

1061	Operation フレーム (LPAR Threshold タブ)		V01-01
1062	LPAR Threshold Setting フレーム		V01-01
1063	LPAR Threshold フレーム		V01-00
1064	ALL チェックボックス	【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	V01-00
1065	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60)	【チェックあり】 しきい値設定の対象になる 【チェックなし】 しきい値設定の対象から外れる	V01-00
1066	Resource Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) にしきい値を設定	V02-02
1067	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) にしきい値を設定	V01-00
1068	Insuff ON チェックボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率にしきい値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)	V01-00
1069	All Setting Mode チェックボックス	【チェックあり】 下のリストに ALL を表示	V01-00
1070	リスト (※ALL でしきい値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		V01-00
1071	ON 列チェックボックス	【チェックあり】 しきい値設定モードにする 【チェックなし】 しきい値設定モードを解除	V01-00
1072	Resource Caution (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V02-02
1073	Resource Error (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V02-02
1074	System Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V01-00
1075	System Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V01-00
1076	Insuff Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 80	V01-00
1077	Insuff Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 95	V01-00
1078	Save ボタン	設定を保存	V01-00

1079	Operation フレーム (Group Threshold タブ)		V01-01
1080	Group Threshold Setting フレーム		V01-01
1081	Group Threshold フレーム		V01-01
1082	ALL チェックボックス	【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V01-01
1083	Group チェックボックス nn (nn=00~59)	【チェックあり】 しきい値設定の対象になる 【チェックなし】 しきい値設定の対象から外れる	V01-01
1084	Group Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) にしきい値を設定	V01-01
1085	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) にしきい値を設定	V01-01
1086	Insuff ON チェックボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率にしきい値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)	V01-01
1087	All Setting Mode チェックボックス	【チェックあり】 下のリストに ALL を表示	V01-01
1088	リスト (※ALL でしきい値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		V01-01
1089	ON 列チェックボックス	【チェックあり】 しきい値設定モードにする 【チェックなし】 しきい値設定モードを解除	V01-01
1090	Group Caution (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V01-01
1091	Group Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V01-01
1092	System Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V01-01
1093	System Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V01-01
1094	Insuff Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 80	V01-01
1095	Insuff Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 95	V01-01
1096	Save ボタン	設定を保存	V01-01

1097	Operation フレーム (Mail タブ)		V01-01
1098	Mail Report フレーム		V01-00
1099	Enable Mail Report チェックボックス	【チェックあり】 メール通報を有効にする 【チェックなし】 メール通報を無効にする	V01-00
1100	Mail Setting フレーム		V01-00
1101	Reported Mail Address テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスを入力	V01-00
1102	Mail Account テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのユーザアカウントを入力	V01-00
1103	Mail Password チェックボックス	【チェックあり】 Mail Password テキストボックスの有効化 【チェックなし】 Mail Password テキストボックスの無効化	V01-01
1104	Mail Password テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのパスワードを入力	V01-00
1105	Mail Server IP Address テキストボックス	メールサーバの IP アドレスを入力 デフォルト設定は 0.0.0.0	V01-00
1106	Mail Server Port テキストボックス	メールサーバのポートを入力 デフォルト設定は 0	V01-00
1107	Mail Test ボタン	サブウィンドウ (Test Mail Sending ウィンドウを開く) (以下の 5 項目を入力するとクリック可能になる Reported Mail Address テキストボックス、 Mail Account: テキストボックス、 Mail Password: テキストボックス、 Mail Server IP Address: テキストボックス、 Mail Server Port テキストボックス)	V01-00
1108	Test Mail Sending ウィンドウ		V01-00
1109	OK ボタン	テストメールを送信	V01-00
1110	キャンセルボタン	テストメールの送信を取り止める	V01-00
1111	Mail sending success ウィンドウ		V01-00
1112	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
1113	Save ボタン	メール設定を保存 以下の項目を入力すると、クリック可能になる (1) Reported Mail Address テキストボックス (2) Mail Account テキストボックス (3) Mail Password テキストボックス (4) Mail Server IP Address テキストボックス (5) Mail Server Port テキストボックス	V02-00
1114	Operation フレーム (Monitoring Mode タブ)		V01-00
1115	Monitoring Mode フレーム		V01-00
1116	HvmShMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmSh.exe を使用	V01-00
1117	HvmGetPerfMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmGetPerf.exe を使用	V01-00
1118	Save ボタン	設定した内容を保存	V01-00
1119	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

1120	HVM Monitor Realtime Viewer[Multi]ウィンドウ		V01-00
1121	ツリービュー	グラフ表示するHVMを選択	V01-00
1122	メニューリスト(Graph Style)		V01-01
1123	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
1124	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
1125	Bar	棒グラフで表示	V01-01
1126	メニューリスト (Graph Size)	Graph Style が Bar 以外の場合のみ メニューリストに Graph Size が加わる	V01-00
1127	Auto Size	Physical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし 表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V01-00
1128	Window Width	Physical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1行1LPAR ずつ表示	V01-00
1129	メニューリスト(Legend)	Graph Style が Bar 以外の場合のみ メニューリストに Legend が加わる	V01-00
1130	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
1131	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
1132	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
1133	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	V01-00
1134	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	V01-01
1135	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	V01-01
1136	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
1137	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
1138	メニューリスト(Refresh Interval)		V01-00
1139	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	V01-00
1140	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	V01-00
1141	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	V01-00
1142	メニューリスト(Scale)	Graph Style が Bar の場合のみメニューリストに Scale が加わる	V01-01
1143	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V01-01
1144	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V01-01
1145	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V01-01
1146	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V01-01
1147	メニューリスト(Value)	Graph Style が Bar の場合のみメニューリストに Value が加わる	V01-01
1148	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V01-01
1149	OFF	数値表示を無効にする	V01-01
1150	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
1151	コンテキストメニュー		V01-00
1152	View Detail	HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウを表示	V01-00

表 5-1 モニタリング条件

条件	内容
0	BS1000 であること
1	Monitoring Mode が HvmShMode であること
2	BS2000 : HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-6x 以降の HVM が表示対象
3	BS2000 : HVM バージョン 57-3x、78-1x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-4x 以降の HVM が表示対象
4	BS2000 : HVM バージョン 58-7x、78-7x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-8x 以降の HVM が表示対象

6 構成ビューア

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Viewer タブ)		V01-00
2	System List フレーム		V01-00
3	コンボボックス	ビューア対象のシステム構成を選択 All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は System Configuration フレーム内の ツリービューに表示	V01-00
4	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタン になる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V01-00
5	System Configuration フレーム		V01-00
6	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示)	V01-00
7	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	V01-00
8	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	V01-00
9	Config List ボタン	System Configuration List ウィンドウを開く	V01-00
10	Config View ボタン	System Configuration Image ウィンドウを開く	V01-00
11	System Edit ウィンドウ		V01-00
12	System Select フレーム		V01-00
13	All System 側 ツリービュー	登録されている HVM を表示 編集中のシステム構成に加えるシャーシ、HVM を選択	V01-00
14	>ボタン	All System 側で選択したシャーシ、HVM を選択した システム構成に加える	V01-00
15	<ボタン	Selected System 側で選択したシャーシ、HVM を選択した システム構成から取り除く	V01-00
16	Selected System 側 コンボボックス	編集するシステム構成を選択 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	V01-00
17	Confirmation ウィンドウ		V01-00
18	OK ボタン	【編集中のシステム構成の内容を保存せずに 新しいシステム構成を選択】	V01-00
19	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
20	New ボタン	【編集中のシステム構成がない場合】 サブウィンドウ (New System ウィンドウ) を開く 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	V01-00

21	New System ウィンドウ		V01-00
22	テキストボックス	作成するシステム構成の名前を入力	V01-00
23	OK ボタン	システム構成をテキストボックスに入力した名前で作成	V01-00
24	Cancel ボタン	システム構成の作成を取り止める	V01-00
25	Confirmation ウィンドウ		V01-00
26	OK ボタン	サブウィンドウ(New System ウィンドウ)を開く [編集中のシステム構成を保存せずに新しいシステム構成を作成]	V01-00
27	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
28	Delete ボタン	編集中のシステム構成を消去 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	V01-00
29	Confirmation ウィンドウ		V01-00
30	OK ボタン	システム構成の消去を実行	V01-00
31	キャンセルボタン	システム構成の消去を取り止める	V01-00
32	Selected System 側ツ リービュー	編集中のシステム構成から取り除くシャーシ、HVM を選択 >ボタン、<ボタンでシステム構成を編集可能	V01-00
33	Save As ボタン	サブウィンドウ(Save As ウィンドウ)を開く	V01-00
34	Save As ウィンドウ		V01-00
35	テキストボックス	編集中のシステム構成の新しい名前を入力	V01-00
36	OK ボタン	システム構成をテキストボックスに入力した名前で保存	V01-00
37	Cancel ボタン	システム構成の保存を取り止める	V01-00
38	Save ボタン	編集中のシステム構成を保存	V01-00
39	Config List ボタン	System Configuration List ウィンドウを開く	V01-00
40	Config View ボタン	System Configuration Image ウィンドウを開く	V01-00
41	Close ボタン	【編集中のシステム構成がない場合】 本ウィンドウを閉じる 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	V01-00
42	Confirmation ウィンドウ		V01-00
43	OK ボタン	[編集中のシステム構成を保存せずに System Edit ウィンドウと 本ウィンドウを閉じる]	V01-00
44	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

45	System Configuration List ウィンドウ		V01-00																								
46	ツリービュー	HVM List に表示する項目を選択 (選択した項目の詳細情報は HVM List リストに表示)	V01-00																								
47	Export ボタン	Export CSV ウィンドウを表示	V01-00																								
48	Item Selection フレーム		V01-00																								
49	コンボボックス	<p>詳細情報を表示する項目の種類を選択</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>種類</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>HVM</td> <td>物理構成情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>LPAR</td> <td>論理構成情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>IP</td> <td>IP アドレス情報</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Firmware Version</td> <td>ファームウェアバージョン情報</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p> <p>選択した種類に応じて、以下のチェックボックスが表示される</p>	No.	項目	種類	サポート (※)	1	HVM	物理構成情報	V01-00	2	LPAR	論理構成情報	V01-00	3	IP	IP アドレス情報	未サポート	4	Firmware Version	ファームウェアバージョン情報	未サポート					
No.	項目	種類	サポート (※)																								
1	HVM	物理構成情報	V01-00																								
2	LPAR	論理構成情報	V01-00																								
3	IP	IP アドレス情報	未サポート																								
4	Firmware Version	ファームウェアバージョン情報	未サポート																								
50	コンボボックスの選択が”HVM”の場合(デフォルト)																										
51		<p>詳細情報を表示する項目にチェックをつける</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>物理サーバ情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Physical NIC</td> <td>物理 NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Physical HBA</td> <td>物理 HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Physical CPU</td> <td>物理 CPU 情報</td> <td>V01-01</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	物理サーバ情報	V01-00	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01	
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	V01-00																								
2	Config	物理サーバ情報	V01-00																								
3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00																								
4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00																								
5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01																								
52	コンボボックスの選択が”LPAR”の場合																										
53		<p>詳細情報を表示する項目にチェックをつける</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>論理サーバ情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Logical NIC</td> <td>論理 NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Logical HBA</td> <td>論理 HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>USB</td> <td>USB 情報</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00	5	USB	USB 情報	未サポート	
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	V01-00																								
2	Config	論理サーバ情報	V01-00																								
3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00																								
4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00																								
5	USB	USB 情報	未サポート																								

54	コンボボックスの選択が“IP”の場合																										
55	<p>現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>HVM</td> <td>HVM の IP アドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>LPAR</td> <td>LPAR の IP アドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	未サポート																								
2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																								
56	コンボボックスの選択が“Firmware Version”の場合																										
57	<p>現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PCI</td> <td>PCI カードのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Blade</td> <td>サーバのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	未サポート																								
2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																								
58	Show List ボタン	コンボボックスで選択された種類について、構成情報を表示する	V01-00																								
59	HVM List リスト	HVM 固有情報を表示	V01-00																								
60	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期表示に戻す	V01-00																								
61	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00																								
62	Export CSV ウィンドウ		V01-00																								
63	以下チェックボックス (HVM、LPAR、IP、および Firmware Version フレーム内) にチェックをつけた項目の詳細情報が CSV ファイルに出力される		V01-00																								
64	ALLCheck チェックボックス	チェックをつけると、以下のチェックボックス (HVM、LPAR、IP および Firmware Version フレーム内) にチェックをつける チェックを外すと、以下のチェックボックスからチェックを外す	V01-00																								
65	HVM フレーム		V01-00																								
66	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>構成情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Physical NIC</td> <td>物理 NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Physical HBA</td> <td>物理 HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Physical CPU</td> <td>物理 CPU 情報</td> <td>V01-01</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	構成情報	V01-00	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	V01-00																								
2	Config	構成情報	V01-00																								
3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00																								
4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00																								
5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01																								

67	LPAR フレーム		V01-00																								
68	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>論理サーバ情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Logical NIC</td> <td>論理NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Logical HBA</td> <td>論理HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>USB</td> <td>USB 情報</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	3	Logical NIC	論理NIC 情報	V01-00	4	Logical HBA	論理HBA 情報	V01-00	5	USB	USB 情報	未サポート
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	V01-00																								
2	Config	論理サーバ情報	V01-00																								
3	Logical NIC	論理NIC 情報	V01-00																								
4	Logical HBA	論理HBA 情報	V01-00																								
5	USB	USB 情報	未サポート																								
69	IP フレーム		V01-00																								
70	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>以下全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>HVM</td> <td>HVM の IP アドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>LPAR</td> <td>LPAR の IP アドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	以下全項目	未サポート																								
2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																								
71	Firmware Version フレーム		V01-00																								
72	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>AL</td> <td>以下全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PCI</td> <td>PCI カードのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Blade</td> <td>サーバのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	AL	以下全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	AL	以下全項目	未サポート																								
2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																								
73	Export Folder Selection		V01-00																								
74	テキストボックス	CSV ファイルの出力先フォルダを表示	V01-00																								
75	Select ボタン	フォルダの参照ウインドウを開く	V01-00																								
76	フォルダの参照ウインドウ		V01-00																								
77	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00																								
78	Export ボタン	CSV ファイルを指定したフォルダに出力 サブウインドウ(Result ウインドウ)を開く	V01-00																								
79	Result ウインドウ		V01-00																								
80	OK ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00																								
81	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00																								

82	HVM Configuration List ウィンドウ		V01-00
83	HVM フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	V01-00
84	Config チェックボックス	—(非活性)	V01-00
85	Physical NIC チェックボックス	—(非活性)	V01-00
86	Physical HBA チェックボックス	—(非活性)	V01-00
87	CPU チェックボックス	—(非活性)	V01-00
88	HVM List リスト	HVM 詳細情報を表示	V01-00
89	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期設定に戻す	V01-00
90	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	V01-00
91	Assign Output Device ウィンドウ		V01-00
92	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
93	Result ウィンドウ		V01-00
94	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
95	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
96	LPAR List ウィンドウ		V01-00
97	LPAR フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	V01-00
98	Config チェックボックス	—(非活性)	V01-00
99	Logical NIC チェックボックス	—(非活性)	V01-00
100	Logical HBA チェックボックス	—(非活性)	V01-00
101	USB チェックボックス	—(非活性)	V01-00
102	LPAR List リスト	LPAR データを表示	V01-00
103	Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が“-”(未定義)の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が“-”(未定義)の LPAR は非表示	V01-01
104	Sort Reset ボタン	LPAR List リストに表示された行の並びを初期設定に戻す	V01-00
105	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	V01-00
106	Assign Output Device ウィンドウ		V01-00
107	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
108	Result ウィンドウ		V01-00
109	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
110	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

111	System Configuration Image ウィンドウ		V01-00																								
112	ツリービュー	作成したシステム構成を表示	V01-00																								
113	Layout Mode フレーム		V01-00																								
114	コンボボックス	図の表示モードを変更 表示モードの種類は以下のとおり																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>表示モード</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Pan and Zoom (デフォルト)</td> <td>以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Fit</td> <td>構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Stretch</td> <td>構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす(縦横の比率を変える)</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Stretch To Width</td> <td>構成図を表示領域に合わせて幅に引き伸ばす(縦横の比率を維持)</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Stretch To Height</td> <td>構成図を表示領域に合わせて高さに引き伸ばす(縦横の比率を維持)</td> <td>V01-00</td> </tr> </tbody> </table>	No.	表示モード	内容	サポート (※)	1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00	2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00	3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす(縦横の比率を変える)	V01-00	4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせて幅に引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00	5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせて高さに引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00	
		No.	表示モード	内容	サポート (※)																						
		1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00																						
		2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00																						
		3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす(縦横の比率を変える)	V01-00																						
4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせて幅に引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00																								
5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせて高さに引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00																								
※サポート:” 操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																											
115	Pan and Zoom コントロール	表示範囲を移動、拡大・縮小	V01-00																								
116	Image フレーム		V01-00																								
117	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	V01-00																								
118	Chassis アイコン	<p>【ドラッグ&ドロップ】</p> <p>Chassis アイコンを図中の任意の場所に配置</p> <p>【クリック】</p> <p>Chassis Configuration Image ウィンドウに表示するシャーシを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可)</p> <p>【ダブルクリック】</p> <p>Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーシの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示)</p>	V01-00																								
119	Chassis アイコン 内 Blade	<p>【クリック】</p> <p>HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可)</p> <p>【ダブルクリック】</p> <p>HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択したHVMの構成図をHVM Configuration Image ウィンドウに表示)</p>	V01-00																								

120	Show Detail ボタン	(1)Chassis アイコンを選択した場合 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーシの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示) (2)Blade アイコンを選択した場合 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択したHVMの構成図をHVM Configuration Image ウィンドウに表示)	V01-00
121	Close ボタン	【Chassis Configuration Image ウィンドウ、HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	V01-00
122	Confirmation ウィンドウ		V01-00
123	OK ボタン	System Configuration Image ウィンドウ、Chassis Configuration Image ウィンドウ、および HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	V01-00
124	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
125	Chassis Configuration Image ウィンドウ		V01-00
126	ツリービュー	選択した Chassis 構成を表示 表示モードの種類は以下のとおり	V01-00
127	Layout Mode フレーム		V01-00
128	コンボボックス	図の表示モードを変更	V01-00
129	Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	V01-00
130	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	V01-00
131	Blade アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Blade アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択したHVMの構成図をHVM Configuration Image ウィンドウに表示) 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00

132		コンテキストメニュー	V01-00	
133		Detail [Config メニュー]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	V01-00
134		Detail [Physical NIC]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 NIC 情報を表示)	V01-00
135		Detail [Physical HBA]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 HBA 情報を表示)	V01-00
136		Detail [Physical CPU]	CPU Configuration List ウィンドウを開く (物理 CPU 情報を表示)	V01-01
137		Show Detail ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	V01-00
138		Close ボタン	【HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	V01-00
139		Confirmation ウィンドウ	V01-00	
140		OK ボタン	Chassis Configuration Image ウィンドウ HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	V01-00
141		キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
142		HVM Configuration Image ウィンドウ	V01-00	
143		ツリービュー	選択した HVM 構成を表示 表示モードの種類は以下のとおり	V01-00
144		Show Deactivated チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が“Deactivate”の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が“ Deactivate ”の LPAR は非表示	V02-04
145		Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が“-”(未定義)の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が“-”(未定義)の LPAR は非表示	V01-01
146		Layout Mode フレーム	V01-00	
147		コンボボックス	図の表示モードを変更	V01-00
148		Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	V01-00

149	Layout Mode フレーム		V01-00
150	ctrl+マウスホイールの 前後操作	表示されている図を拡大・縮小	V01-00
151	LPAR アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 LPAR アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 LPAR List ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
152	コンテキストメニュー		V01-00
153	Detail [Config メニュー]	LPAR List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	V01-00
154	Detail [Logical NIC]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 NIC 情報を表示)	V01-00
155	Detail [Logical HBA]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 HBA 情報を表示)	V01-00
156	LPAR Detail ウィンドウ		V01-00
157	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
158	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
159	Confirmation ウィンドウ		V01-00
160	OK ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	V01-00
161	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

7 LPARマイグレーション

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Migration タブ)		V01-00
2	Menu フレーム		V01-00
3	Migration ボタン	Migration ウィンドウを開く	V01-00
4	Migration Policy ボタン	Migration Policy ウィンドウを開く	V01-00
5	Update ボタン /Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V01-00
6	Migration History フレーム		V01-00
7	Show LPAR History ボタン	Migration History ウィンドウを表示	V02-04
8	Migration History リスト	マイグレーション実行履歴を表示	V01-00
9	Migration ウィンドウ		V01-00
10	Target Selection フレーム		V01-00
11	〔リカバリが必要な LPAR が ある時のみ表示〕  Show the LPARs チェックボックス	【チェックあり】 Target フレーム、Target ツリービューを表示 ※Target ツリービューは、リカバリ対象 LPAR のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source フレーム、Source ツリービュー、Destination フレーム、および Destination ツリービューを表示	V01-00
12	〔  Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕 Auto チェックボックス	【チェックあり】 移動先 HVM を選択すると、自動で移動先 LPAR を選択 【チェックなし】(デフォルト) 移動先 HVM を選択しても、自動で移動先 LPAR を選択しない	V01-01
13	〔  Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕 Migratable チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示	V01-01

14	 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能 Group チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービュー、Destination ツリービューに 表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに 表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない	V01-01
15		Tree View チェックボックス 登録した HVM をツリービューまたは コンボボックスで表示 【チェックあり】(デフォルト) 登録した HVM をツリービューで表示 【チェックなし】 登録した HVM をコンボボックスで表示	V01-00
16		Source フレーム No. 16~22 は、  Show the LPARs チェックボックス にチェックがない場合利用可能	V01-00
17		Source ツリービュー 【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	V01-00
18		Chassis コンボボックス 【Tree View チェックボックスにチェックなし】	V01-00
19		HVM コンボボックス マイグレーション可能な Chassis、HVM、LPAR を表示	V01-00
20		LPAR コンボボックス (1) 移動元シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	V01-00
21		Selected LPAR ラベル 選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
22		Detail Information リスト 選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	V01-00
23		Destination フレーム No. 23~31 は、  Show the LPARs チェックボックス にチェックがない場合利用可能	V01-00
24		Destination ツリービュー 【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	V01-00
25		Chassis コンボボックス 【Tree View チェックボックスにチェックなし】	V01-00
26		HVM コンボボックス (1) 移動先シャーシを選択	V01-00
27		LPAR コンボボックス (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択	V01-00
28		Group コンボボックス (4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	V01-01
29		Selected LPAR ラベル 選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
30		Group ラベル 選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグルー プ番号とグループ名称を表示	V01-01
31		Detail Information リスト 選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	V01-00

32	Target フレーム	No. 0~38 は、  Show the LPARs チェックボックスに チェックがある場合利用可能	V01-01
33	Target ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 リカバリする LPAR を選択	V01-01
34	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) リカバリする LPAR が構築されている シャーシを選択 (2) リカバリする LPAR が構築されている HVM を選択 (3) リカバリする LPAR を選択	V01-01
35	HVM コンボボックス		V01-01
36	LPAR コンボボックス		V01-01
37	Selected LPAR ラベル	選択したりカバリ LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
38	Detail Information リスト	選択したりカバリ LPAR の詳細情報を表示	V01-01
39	Migration Setting フレーム		V01-00
40	migration option フレーム		V01-00
41	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	マイグレーション対象の移動元 LPAR の ゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない	V01-00
42	Activate Destination LPAR チェックボックス	マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)	V01-00
43	Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに 【チェックあり】の場合利用可能	V01-00
44	OS Type コンボボックス	OS タイプを選択	V01-00
45	IP テキストボックス	IP アドレスを入力	V01-00
46	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	V01-00
47	Password テキストボックス	パスワードを入力	V01-00
48	Forced shutdown チェックボックス	ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	V01-00
49	Save ボタン	Guest OS Information (for remote shutdown) の 設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	V01-00

50	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示/非表示	V01-01
51	Migration Execute ボタン /Recovery Execute ボタン (リカバリが必要な LPAR を選択した場合に Recovery Execute ボタンになる)	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	V01-00
52	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
53	Confirmation ウィンドウ		V01-00
54	Source フレーム	設定した移動元 LPAR 情報を表示	V01-00
55	Destination フレーム	設定した移動先 LPAR 情報を表示	V01-00
56	Migration Option フレーム	設定したオプション機能情報を表示	V01-00
57	Target フレーム	設定したリカバリが必要な LPAR 情報を表示	V01-00
58	OK ボタン	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Migration を実行) 【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Recovery Progress ウィンドウを表示 (Recovery を実行)	V01-00
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
60	Migration Progress ウィンドウ		V01-00
61	プログレスバー	マイグレーションの進捗状況を表示	V01-00
62	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	V01-00
63	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	V01-00
64	Progress Detail フレーム		V01-00
65	リスト	マイグレーションの進捗状況の詳細を表示	V01-00
66	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
67	Recovery Progress ウィンドウ		V01-00
68	プログレスバー	リカバリの進捗状況を表示	V01-00
69	Target フレーム	リカバリが必要な LPAR 情報を表示	V01-00
70	Progress Detail フレーム		V01-00
71	リスト	リカバリの進捗状況の詳細を表示	V01-00
72	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
73	Migration Policy ウィンドウ		V01-00
74	Policy Name コンボボックス	作成済みのポリシー名を選択	V01-00
75	New ボタン	サブウィンドウ (New Policy ウィンドウ) を表示 (ポリシー名を入力)	V01-00
76	New Policy ウィンドウ		V01-00
77	テキストボックス	新しいポリシーの名前を入力	V01-00
78	OK ボタン	新しいポリシーをテキストボックスに入力した名前で作成	V01-00
79	Cancel ボタン	新しいポリシーの作成を取り止める	V01-00

80	Modify ボタン/Release ボタン (トグルボタン)	【Modify】 ポリシーの内容変更モードにする 【Release】 ポリシーの内容変更モードを終了	V01-00
81	Save ボタン	編集したポリシーの内容を保存(上書き保存)	V01-00
82	Save as ボタン	編集したポリシーの内容を保存(名前を付けて保存) サブウインドウ(Save as Policy ウインドウ)を表示	V01-00
83	Save as Policy ウインドウ		V01-00
84	テキストボックス	保存するポリシーの名前を入力	V01-00
85	OK ボタン	編集中のポリシーをテキストボックスに入力した名前で保存	V01-00
86	Cancel ボタン	ポリシーの保存を取り止める	V01-00
87	Delete ボタン	サブウインドウ>Delete ウインドウ)を表示	V01-00
88	Delete ウインドウ		V01-00
89	OK ボタン	ポリシーを削除	V01-00
90	キャンセルボタン	ポリシーの削除を取り止める	V01-00
91	Execute/Stop ボタン	【Execute】 サブウインドウ(Confirmation ウインドウ)を表示 【Stop】 実行中のマイグレーションが完了した時点で、一旦ポリシー実行を停止させる 停止後にサブウインドウ(Confirmation ウインドウ)を表示	V01-00
92	Confirmation ウインドウ (Execute ボタンの場合)		V01-00
93	OK ボタン	ポリシーを実行 (Migration Progress ウインドウを表示)	V01-00
94	キャンセルボタン	ポリシーの実行を取り止める	V01-00
95	Confirmation ウインドウ (Stop ボタンの場合)		V01-00
96	End ボタン	ポリシー実行を終了	V01-00
97	Continue ボタン	ポリシー実行を再開する	V01-00
98	Policy Information フレーム		V01-00
99	Comment テキストボックス	編集中のポリシーについてのコメントを入力	V01-00
100	Add ボタン	Add Migration[ポリシー名]ウインドウを表示	V01-00
101	Up ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ前にする	V01-00
102	Down ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ後にする	V01-00
103	Delete ボタン	選択した行をポリシーから削除(行全体を選択すること)	V01-00
104	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の、移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウインドウの表示/非表示	V01-01
105	Migration Information リスト	マイグレーション実行一覧を表示	V01-00

106	Migration Config Viewer ウィンドウ		V01-00
107	Server Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR のサーバ構成情報を表示	V01-00
108	HBA Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の HBA 構成情報を表示	V01-00
109	Show Value チェックボックス	【チェックあり】 HBA Configuration リストの内容(移動元、移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) HBA Configuration リストの内容を表示しない	V01-00
110	NIC Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の NIC 構成情報を表示	V01-00
111	Show Value チェックボックス	【チェックあり】 NIC Configuration リストの内容(移動元、移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) NIC Configuration リストの内容を表示しない	V01-00
112	Export to CSV ボタン	Export to CSV ウィンドウを表示 (CSV に出力)	V01-00
113	Export to CSV ウィンドウ		V01-00
114	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
115	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
116	Add Migration ウィンドウ		V01-00
117	Target Selection フレーム		V01-00
118	Migratable チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示	V01-01
119	Group チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない	V01-01
120	Tree View チェックボックス	登録 HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示 【チェックあり】(デフォルト) 登録 HVM をツリービューで表示 【チェックなし】 登録 HVM をコンボボックスで表示	V01-00

121		Source フレーム	V01-00
122		Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択
123		Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】
124		HVM コンボボックス	(1) 移動元シャーシを選択
125		LPAR コンボボックス	(2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択
126		Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示
127		Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示
128		Destination フレーム	V01-00
129		Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択
130		Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】
131		HVM コンボボックス	(1) 移動先シャーシを選択
132		LPAR コンボボックス	(2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択
133		Group コンボボックス	(4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能
134		Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示
135		Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグルー プ番号とグループ名称を表示
136		Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示
137		Migration Setting フレーム	V01-00
138		migration option フレーム	V01-00
139		Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャ ットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない
140		Activate Destination LPAR チェックボックス	マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可 否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)

141		Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに【チェックあり】の場合利用可能	V01-00
142		OS Type コンボボックス	OS タイプを選択	V01-00
143		IP テキストボックス	IP アドレスを入力	V01-00
144		UserID テキストボックス	ユーザ ID を入力	V01-00
145		Password テキストボックス	パスワードを入力	V01-00
146		Forced shutdown チェックボックス	ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	V01-00
147		Save ボタン	Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	V01-00
148		Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示/非表示	V01-01
149		Add ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	V01-00
150		Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
151	Confirmation ウィンドウ			V01-00
152		Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	V01-00
153		Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	V01-00
154		Migration Option フレーム	オプション機能情報を表示	V01-00
155		OK ボタン	ポリシーにマイグレーションを登録し、本ウィンドウを閉じる	V01-00
156		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
157	Migration Config Viewer ウィンドウ			V01-00
158		Server Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR のサーバ構成情報を表示	V01-00
159		HBA Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の HBA 構成情報を表示	V01-00
160		Show Value チェックボックス	【チェックあり】 HBA Configuration リストの内容(移動元、移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) HBA Configuration リストの内容を表示しない	V01-00
161		NIC Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の NIC 構成情報を表示	V01-00
162		Show Value チェックボックス	【チェックあり】 NIC Configuration リストの内容(移動元、移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) NIC Configuration リストの内容を表示しない	V01-00
163		Export to CSV ボタン	Export to CSV ウィンドウを表示(CSV に出力)	V01-00
164	Export to CSV ウィンドウ			V01-00
165		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
166		Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

167	Migration History ウィンドウ		V01-00
168	リスト	LPAR 毎にマイグレーションの移動履歴 (HVM ID、LPAR No.) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	V01-00
169	<< ボタン	最初のページを表示	V01-00
170	< ボタン	1 つ前のページを表示	V01-00
171	> ボタン	次のページを表示	V01-00
172	>> ボタン	最終ページを表示	V01-00
173	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

8 ファームウェア更新

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (F/W Update タブ)		V02-01
2	Menu フレーム		V02-01
3	F/W Update ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) を開く	V02-01
4	Show Version ボタン	Firmware Version List ウィンドウを開く	V02-01
5	F/W Update History フレーム		V02-01
6	Detail チェックボックス	F/W Update History リスト中の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History リスト中に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) F/W Update History リスト中に詳細情報を表示しない	V02-01
7	Show F/W Update History チェックボックス	F/W Update History ウィンドウの表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History ウィンドウを表示する 【チェックなし】(デフォルト) F/W Update History ウィンドウを表示しない	V02-01
8	F/W Update History リスト	ファームウェア更新履歴を表示する	V02-01
9	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)		V02-01
10	System List フレーム		V02-01
11	コンボボックス	HVM ファームウェア更新対象のシステム構成を選択する All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は HVM List フレーム内のツリービューに表示する	V02-01
12	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新する 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V02-01
13	HVM List フレーム		V02-01
14	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択する (選択した項目の詳細情報はリストに表示する)	V02-01
15	リスト (Chassis、HVM 情報)	ツリービューで選択した項目 (Chassis、HVM) の詳細情報を表示する	V02-01
16	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード) を進む	V02-01
17	Close ボタン	Close HVM Firmware Update ウィンドウを開く	V02-01
18	Close HVM Firmware Update ウィンドウ (Close ボタンをクリックした場合)		V02-01
19	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウを閉じる	V02-01
20	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01

21	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード)		V02-01
22	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
23	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	V02-01
24	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	V02-01
25	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
26	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	V02-01
27	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	V02-01
28	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
29	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	V02-01
30	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	V02-01
31	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)に戻る	V02-01
32	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)に進む	V02-01
33	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-01

34	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)		V02-01
35	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
36	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン (最古) を選択する	V02-01
37	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 (デフォルト) HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を無効にする	V02-01
38	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) を選択する	V02-01
39	Update Version	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-01
40	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
41	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン (最古) を選択する	V02-01
42	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 (デフォルト) HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を無効にする	V02-01
43	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) を選択する	V02-01
44	Update Version	更新後の BladeSymphony2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-01
45	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 320 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01

46	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	V02-01
47	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無効にする	V02-01
48	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	V02-01
49	Update Version	更新後の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-01
50	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード)に戻る	V02-01
51	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に進む	V02-01
52	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-01
53	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step4 : Select Target HVM ウィザード)		V02-01
54	Select HVM List フレーム		V02-01
55	ツリービュー		V02-01
56	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	V02-01
57	リスト		V02-01
58	Detail チェックボックス	リスト中の HVM の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中の HVM の詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中の HVM の詳細情報を表示しない	V02-01
59	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	V02-01
60	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM の情報を表示する	V02-01

61	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)に戻る	V02-01
62	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)に進む	V02-01
63	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-01
64	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step5 : Set Verup License Key ウィザード)		V02-01
65	Select Verup License Key File ボタン	バージョンアップ用ライセンスキーファイルを選択する	V02-01
66	Verup License Key Setting List フレーム		V02-01
67	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の 表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	V02-01
68	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示、バージョンアップ用 ライセンスキーを入力する	V02-01
69	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に戻る	V02-01
70	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)に進む	V02-01
71	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-01
72	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step6 : Check Connection ウィザード)		V02-01
73	Password Setting List フレーム		V02-01
74	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の 表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	V02-01
75	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示、HVM Web システムの ログインパスワードを入力する	V02-01
76	Information ボタン	Information ウィンドウを開く 本ボタンは Next ボタンクリック後に表示される	V02-01
77	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)に戻る	V02-01
78	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Exectute Update ウィザード)に進む 本ボタンクリックにより HVM Web システムとの接続確認を行うため ウィザードの更新までに少々時間を要します	V02-01
79	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-01

80	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step7 : Execute Update ウィザード)		V02-01
81	HVM F/W Update List フレーム		
82	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	V02-01
83	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	V02-01
84	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step6 : Check Connection ウィザード)に戻る	V02-01
85	Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く	V02-01
86	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-01
87	Confirm ウィンドウ(Next ボタンをクリックした場合)		V02-01
88	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step8 : Update Status ウィザード)に進み HVM ファームウェアの更新を実行する	V02-01
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01
90	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step8 : Update Status ウィザード)		V02-01
91	HVM F/W Update List フレーム		
92	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	V02-01
93	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択しない	V02-01
94	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	V02-01
95	Information ボタン	Information ウィンドウを開く	V02-01
96	Retry ボタン	HVM ファームウェアの更新を再実行する 本ボタンは HVM ファームウェア更新が異常終了した場合に有効になる	V02-01
97	Finish ボタン	Close ウィンドウを開く 本ボタンは HVM ファームウェア更新が正常終了した場合に有効になる	V02-01
98	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	V02-01
99	Close ウィンドウ(Finish ボタン、Close ボタンをクリックした場合)		V02-01
100	OK ボタン	本ウィンドウ、HVM Firmware Update ウィンドウを閉じる	V02-01
101	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01

102	Firmware Version List ウィンドウ		V02-01
103	System List フレーム	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「System List フレーム」の説明をご参照ください	V02-01
104	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の 「Update ボタン/Update Cancel ボタン」の 説明をご参照ください	V02-01
105	Export ボタン	F/W Version List の表示内容を GSV ファイルに出力する	V02-01
106	F/W Version List	HVM の詳細情報を表示する	V02-01
107	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01
108	F/W Update History ウィンドウ		V02-01
109	リスト	HVM 毎にファームウェアの更新履歴 (HVM ID、ファームウェアバージョン)を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	V02-01
110	<< ボタン	最初のページを表示する	V02-01
111	< ボタン	1 つ前のページを表示する	V02-01
112	> ボタン	次のページを表示する	V02-01
113	>> ボタン	最終ページを表示する	V02-01
114	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01

9 ソリューション

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Solution タブ)		V02-03
2	Easy Start ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード) を開く	V02-03
3	Easy Start History ボタン	Easy Start History ウィンドウを開く	V02-03
4	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)		V02-03
5	HVM List フレーム		V02-03
6	Import ボタン	HVM 設定ファイルを選択してください ウィンドウを開く	V02-03
7	HVM 設定ファイルを選択してください。ウィンドウ (Easy Start ウィンドウの Import ボタンクリック時に開くウィンドウ)		V02-03
8	開くボタン	選択した HVM 設定ファイルを読み込む	V02-03
9	キャンセルボタン	HVM 設定ファイルの読み込みを取り止める	V02-03
10	Delete ボタン	Confirm ウィンドウを開く	V02-03
11	Confirm ウィンドウ		V02-03
12	リスト	削除対象の HVM を表示	V02-03
13	OK ボタン	削除対象の HVM をリストより削除	V02-03
14	Cancel ボタン	HVM の削除を取り止める	V02-03
15	リスト		V02-03
16	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】 (デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	V02-03
17	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	V02-03
18	Next ボタン	Load HVM Setting File を開く	V02-03
19	Load HVM Setting File ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		V02-03
20	YES ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード) に進む	V02-03
21	NO ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-03
22	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	V02-03
23	Close ウィンドウ (Close ボタンをクリックした場合)		V02-03
24	OK ボタン	Easy Start ウィンドウを閉じる	V02-03
25	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-03

26	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード)		V02-03
27	HVM List フレーム		V02-03
28	リスト		V02-03
29	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	V02-03
30	リスト(設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示、SVP ログイン用に SVP IP アドレス、SVP ログインユーザ ID、および SVP ログインパスワードを入力する	V02-03
31	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	V02-03
32	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		V02-03
33	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)に戻る	V02-03
34	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-03
35	Next ボタン	【実行対象の HVM がある場合】 Confirm ウィンドウを開く 【実行対象の HVM がない場合】 Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)に進む	V02-03
36	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		V02-03
37	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)に進む	V02-03
38	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-03
39	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-03
40	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)		V02-03
41	HVM List フレーム		V02-03
42	リスト		V02-03
43	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	V02-03
44	リスト(設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	V02-03
45	Stop ボタン (実行中の HVM の Step が HVM Powering ON になっている時のみ表示)	Stop HVM ウィンドウを開く	V02-03

46	Stop HVM ウィンドウ (Stop ボタンをクリックした場合)		V02-03
47	Powering HVM List フレーム		V02-03
48	リスト		V02-03
49	チェックボックス	処理停止対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 処置停止対象の HVM に選択する 【チェックなし】 処理停止対象の HVM に選択しない	V02-03
50	リスト (処理停止対象 HVM 情報)	処理停止対象 HVM の情報を表示する	V02-03
51	OK ボタン	処理停止対象 HVM の実行を停止する	V02-03
52	Cancel ボタン	処理停止対象 HVM の実行の停止を取り止める	V02-03
53	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	V02-03
54	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		V02-03
55	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード)に戻る	V02-03
56	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-03
57	Next ボタン	【実行対象の HVM がある場合】 Confirm ウィンドウを開く 【実行対象の HVM がない場合】 Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)に進む	V02-03
58	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		V02-03
59	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)に進む	V02-03
60	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-03
61	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)の 「Close ボタン」の説明をご参照ください	V02-03
62	Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)		V02-03
63	HVM List フレーム		V02-03
64	リスト		V02-03
65	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	V02-03
66	アイコン	エラーや警告がある時にダブルクリックすると エラーや警告の詳細ウィンドウを表示する	V02-03
67	コンボボックス	設定完了後の HVM 搭載ブレードの 電源状態を選択する	V02-03
68	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	V02-03
69	View ボタン	Configuration Comparison ウィンドウを開く	V02-03

70		Configuration Comparison ウィンドウ (View ボタンをクリックした場合)	V02-03
71		Report ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く
72		フォルダの参照ウィンドウ	V02-03
73		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	V02-03
74		Configuration Comparison List フレーム	V02-03
75		リスト	HVM 設定ファイルと設定対象 HVM (設定前のみ) の差分情報を表示する
76		Close ボタン	本ウィンドウを閉じる
77		Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く
78		Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)	V02-03
79		OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード) に戻る
80		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
81		Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く
82		Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)	V02-03
83		OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step5 : Setting Result ウィザード) に進む
84		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
85		Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください
86		Easy Start ウィンドウ (Step5 : Setting Result ウィザード)	V02-03
87		HVM List フレーム	V02-03
88		リスト	V02-03
89		リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する
90		View ボタン	Configuration Comparison ウィンドウを開く
91		Configuration Comparison ウィンドウ	V02-03
92		Report ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く
93		フォルダの参照ウィンドウ	V02-03
94		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	V02-03
95		Configuration Comparison List フレーム	V02-03
96		リスト	HVM 設定ファイルと設定対象 HVM (設定前と設定後) の差分情報を表示する
97		Close ボタン	本ウィンドウを閉じる
98		Finish ボタン	Confirm ウィンドウを開く
99		Confirm ウィンドウ (Finish ボタンをクリックした場合)	V02-03
100		OK ボタン	本ウィンドウ、Easy Start ウィンドウを閉じる
101		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
102		Easy Start History ウィンドウ	V02-03
103		Easy Start History List フレーム	V02-03
104		アイコン	エラーや警告がある時にダブルクリックするとエラーや警告の詳細ウィンドウを表示する
105		リスト	Easy Start の実行履歴を表示する
106		Close ボタン	本ウィンドウを閉じる

10 メッセージ一覧

本章では、Virtage Navigator が出力するメッセージを紹介します。

メッセージについては、メッセージコードの先頭の 4 桁をご確認いただくことにより、Virtage Navigator のどの機能のメッセージに相当するのか判断することができます。

表 10-1 メッセージコードの分類

メッセージコード 先頭 4 桁	Virtage Navigator 機能
0000	共通(※)
1000	共通(※)
2000	LPAR Configuration
2002	共通(※)
2003	LPAR Configuration
2004	共通(※)
3000	LPAR Configuration
3001	LPAR Configuration
3002	LPAR Configuration
3005	共通(※)
3006	ソリューション
4000	モニタリング
5000	ファームウェア更新
6000	LPAR マイグレーション

※メッセージが Virtage Navigator の複数の機能で使われていることを意味する

10.1 共通メッセージ

Virtage Navigatorの複数の機能で使用されるメッセージは表 10-2 のとおりです。

表 10-2 複数機能で使用されるメッセージ

メッセージ内に記載されている [x]については補足内容をご参照ください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
00000000	Success.	—	—
10000001	HVM 情報の更新に失敗しました。 HVM IP Address: {0} HVM の電源状態やネットワーク状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000002	HVM の起動が完了しているにもかかわらず、HVM 情報が取得できない場合は以下を確認してください。 1. HVM に登録されている IP アドレスの設定値が正しいこと。 2. このコンピュータの IP アドレスが BSM IP アドレスまたは CLI IP アドレスとして登録されていること。 3. このコンピュータと HVM 間のネットワークに問題がないこと。 4. このコンピュータに複数の IP アドレスが登録されている場合、Option 画面 - HVM Connection - Communicate IP Address に、HVM との通信に使用する IP アドレスが登録してあること。 確認後、本メッセージウィンドウを閉じてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000003	HVM 情報が最新ではない可能性があります。 HVM の電源状態やネットワーク状況を確認し、Update 操作を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000010	使用可能ライセンス時の上限 {0} を超えたため、HVM 情報の登録に失敗しました。 HVM IP Address : {1} Profile から、不要な HVM 登録を削除してください。	{0}:使用可能 HVM 数 {1}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000011	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000012	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} 利用可能メモリが不足しています。 下記を実施しても改善されない場合は、Virtage Navigator を再起動してください。 ・他のアプリケーションを終了させてください。 ・Virtage Navigator の他のウィンドウを閉じてください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000013	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ----- Internal error occurred. Status :{1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10000014	複数の操作が実行されているため、処理がタイムアウトしました。 HVM IP Address : {0} しばらく経ってから、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000020	HVM の構成情報の保存中にアプリケーションの内部障害が発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
10000021	情報の保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000022	履歴ログの保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。 もう一度、履歴ログの保存を行う場合は OK をクリックしてください。履歴ログの保存をあきらめる場合は Cancel をクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000030	Get Technical Information is completed.	—	—
10000031	Stop the Get Technical Information. Are you sure? Retry if stopped.	—	処理を中断した場合は、再度実行してください。
10000032	Failed to Get Technical Information. detail: {0} Check the folder and computer, and retry.	{0}:VirtGetLogs のエラーメッセージ	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
10000033	Failed to Get Technical Information. Check the folder and computer, and retry.	—	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
1000003F	Internal error occurred. Reboot the program and retry.	—	Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。
1000010x	R-KVM Application (ReClient) が検出できませんでした。 R-KVM Application (ReClient) のインストール状況を確認してください。	x:0,1(内部ステータス)	メッセージに従い、対処してください。
1000011x	Internet Explorer の起動時にエラーが発生しました。 Internet Explorer のインストール状況を確認してください。	x:内部ステータス	メッセージに従い、対処してください。
10000200	Terminal Application のパスが設定されていません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path に、Application の実行ファイルを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000201	Terminal Application のパスにファイルが存在していません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
1000020F	Terminal Application の起動時にエラーが発生しました。 画面を閉じてから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000210	必要なマクロファイルが存在しません。 ファイル名 : {0} ユーザズガイドに従って、マクロファイルを作成してください。	{0}:マクロファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
10000211	指定された HVM に対して、本機能はサポートされていません。 HVM IP Address : {0} サポート状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10000300	"Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5" might not be installed. Check if the software is correctly installed.	—	メッセージに従い、対処してください。
10001000	実行中の処理は中断され、未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001001	画面を閉じてよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001002	エラー終了したHVMがあります。 リトライを行わずに画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001003	終了処理を行っています。 しばらくお待ちください。	—	—
10001004	実行中の処理を中断して、画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10002000	未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10002001	前回指定したフォルダパスの読み込み中に内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002002	指定したフォルダパスの保存中に内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002003	前回指定したフォルダパスの読み込みに失敗しました。 フォルダ指定画面ではデスクトップが初期表示されます。 前回指定したフォルダを初期表示するにはVirtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002004	指定したフォルダパスの保存に失敗しました。 指定したフォルダパスは Virtage Navigator の再起動時に読み込まれません。 指定したフォルダパスを保存するには、 Virtage Navigator を再起動し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002005	前回指定したフォルダパスの読み込みに失敗しました。 Virtage Navigator インストールフォルダ ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM¥ {0} が初期表示されます。	{0} : フォルダ名 BS320 BS2000MP BS2000DP	—
20020001	シャーシの種類が識別できませんでした。 シャーシの種類がサポート対象か確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020002	マネジメントモジュールのファームウェアのバージョンが識別できませんでした。 マネジメントモジュールのファームウェアバージョンがサポート対象か確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020003	未サポートの OS モードが設定されました。	—	OS モードの設定を確認してください。
20020004	VNIC System No の設定が正しくありません。 VNIC System No の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
2002FFFF	マネジメントモジュールとの通信中に障害が発生しました。 マネジメントモジュールのファームウェアバージョンと、ネットワークの接続を確認し、再度操作を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20040001	シャージ情報が見つかりませんでした。 IP アドレスの設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040002	操作対象の BMC の IP アドレスが見つかりませんでした。	—	—
20040003	SVP の情報が見つかりませんでした。 SVP の情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040004	操作対象のブレードの BMC 情報が見つかりませんでした。 ブレードの BMC 情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050101	SVP にログインできませんでした。 SVP の IP アドレス、または SVP の F/W Version を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050102	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050103	SVP との接続に失敗しました。対象コマンド： {0} 通信状態を確認後、再度実行してください。	{0}：内部使用コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050105	{0} で SVP から失敗応答がありました。 Command： {1} SlotNo： {2} Code： {3} Message： {4} 状態確認後、再度実行してください。	{0}：内部使用コマンド説明 {1}：内部使用コマンド名称 {2}：対象 Partition 番号 {3}：内部使用コマンド種別 {4}：内部使用コマンドのエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
30050106	コマンド({0})の解析に失敗しました。 {1}コマンドの条件を確認してください。	{0}：内部コマンド名称 {1}：内部コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050107	既にログイン中です。 ログアウト後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050108	SVP とのセッションが切れました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050109	実行に必要なパラメータが設定されていません。 設定値を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050110	接続数の限界を超えています。 接続数を減らしてから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050111	SVP にログインできませんでした。 SVP のユーザ ID、またはパスワードを確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
300501FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050201	SVP の FTP サーバにログインできませんでした。 IP アドレス、ユーザ名、パスワードを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050202	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050203	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30050204	転送タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050205	ファイルが存在しません。 転送元のファイルを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050206	保存用ディレクトリが存在しません。 作成しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30050207	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050208	ファイルの削除に失敗しました。 ファイルが存在するか確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
300502FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFFF101	Internal error. : Invalid Parameter. {0} : {1}	{0}:パラメータ名称 {1}:パラメータ値	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFFF102	Timeout error occurred. (Lock) しばらく経ってから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFFFFB	{0} の処理中に内部障害が発生しました。	{0}:処理内容	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFFFFC	ユーザ操作により、キャンセルされました。	—	—
FFFFFFFD	{0} 画面の操作で内部障害が発生しました。 一度画面を閉じてから、もう一度操作を行ってください。	{0}:画面名称	メッセージに従い、対処してください。
FFFFFFFE	Unknown internal error.	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFFFF	Unknown internal error. : Internal Code : {0}	{0}:内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

10.2 LPAR設定用メッセージ

LPAR設定で使用されるメッセージは表 10-3 のとおりです。

表 10-3 LPAR 設定で使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000101	共有 NIC が存在しません。 NIC のスケジュールモードを共有にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000102	設定された数の LPAR を作成できません。 {0} LPAR 以下の値を設定してください。	{0} : 作成可能 LPAR 数	メッセージに従い、対処してください。
20000103	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000104	割り当て可能な共有 NIC が不足しています。 共有 NIC のセグメント状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000105	割り当て可能な共有 FC が不足しています。 共有 FC のポート状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000107	最大 LPAR 数まで定義されているため、LPAR を作成できません。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000108	割り当てプロセッサ数が不正です。 {0} プロセッサから {1} プロセッサの値を設定してください。	{0} : 割り当て共有プロセッサ数の最小値 {1} : 割り当て共有プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000109	割り当てメモリ容量が不正です。 {0} MB から {1} MB の値を設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の最小値 {1} : 割り当てメモリ容量の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000110	共有 FC が存在しません。 FC のスケジュールモードを共有に設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000111	割り当てメモリ容量の単位が不正です。 {0} MB 単位で設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の単位	メッセージに従い、対処してください。
20000401	他の端末から構成情報が変更されました。LPAR 番号 : {0} Update を実行後、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000402	LPAR No. {0} の設定変更が失敗しました。 {1} 再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号 {1} : 詳細エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
20000501	LPAR の削除に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000601	構成情報の保存に失敗しました。HVM IP Address : {0} 再度構成情報の保存を実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000701	本機能がサポートする最大 LPAR 数まで定義されています。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000801	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000802	LPAR の追加が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000803	LPAR 名の設定が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000804	メモリの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000805	プロセッサの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000806	共有 NIC の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000807	PCI デバイスの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000808	論理プロセッサアイドル検出機能の更新が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000809	自動 Activate の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000810	論理 SEL の自動クリアの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000811	プロセッサキャッピング機能の変更が失敗しました。 LPAR 番 号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000812	仮想 COM の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000813	Pre-boot ファームウェアの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000814	LPAR の論理プロセッサの割り当て変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0}, プロセッサ番号 : {1} {2}	{0} : LPAR 番号 {1} : プロセッサ番号 {2} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
20000815	プロセッサグループ名の設定が失敗しました。 プロセッサグ ループ番号 : {0} {1}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000816	物理プロセッサコアのグループ変更が失敗しました。プロセッサグループ番号：{0}、プロセッサ番号：{1}{2}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:プロセッサ番号 {2}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000817	物理プロセッサの縮退が失敗しました。プロセッサ番号：{0}{1}	{0}:プロセッサ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000818	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号：{0}{1}	{0}:セグメント番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000819	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号：{0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:セグメント番号	メッセージに従い、対処してください。
20000820	システム情報の設定が失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000821	他の端末より LPAR 情報が更新されています。LPAR 番号：{0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000822	LPAR の更新情報の取得に失敗しました。LPAR 番号：{0}{1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000823	USB デバイスの更新が失敗しました。LPAR 番号：{0}{1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000824	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号：{0}{1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000825	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号：{0}{1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000826	プロセッサグループの追加が失敗しました。Group 番号：{0}{1}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000827	プロセッサグループの削除が失敗しました。Group 番号：{0}{1}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000901	共有 FC の割り当て更新に失敗しました。LPAR 番号：{0}{1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000A01	PCI スケジュールモードの変更は失敗しました。HVM IP Address：{0}{1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:メッセージ	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000B01	ユーザ要求処理が失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000B02	ユーザ要求処理がタイムアウトしました。HVM IP Address : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000C01	LPAR の追加に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000E01	共有 NIC のデバイス数設定が不正です。HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 NIC を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 NIC デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000E02	共有 HBA のデバイス数設定が不正です。HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 HBA を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 HBA デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000F01	他の端末から構成情報が変更されたため、{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000F02	{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	x=4-6, A-F (内部ステータス) {0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。LPAR 番号 : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	x=8, 9 (内部ステータス) {0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20001001	HVM オプションの設定が失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001101	システム時刻の変更は失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001102	LPAR の SEL 時刻の変更は失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001103	LPAR の時刻合わせに失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20001201	HVM のタイムゾーンの変更に失敗しました。 HVM IP Address : {0}	{0}:HVM の IP アドレス	—
200012FF	内部エラーが発生しました。 HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
2000FF01	ユーザー要求により処理を中断しました。	—	—
2000FFFF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030001	情報の更新は成功しましたが、内部エラーが発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
20030003	IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスを設定してください。 (XXX.XXX.XXX.XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
20030004	使用しているコンピュータの IP アドレスが、管理サーバとして SVP に登録されていません。 管理サーバとして SVP に IP アドレスを登録しない場合、HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030005	使用しているコンピュータの IP アドレスが、管理サーバとして SVP に登録されてなく CLI IP Address にも登録されていません。 IP アドレスを登録しない場合、HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030200	以下のシャーシを検出しました。 ----- {0}	{0}:シャーシ情報	—
20030201	設定された IP アドレスの SVP は既に登録されているため、設定を上書きします。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030202	未サポートのシャーシが検出されました。 Detected Chassis Type: {0} サポート状況を確認してください。	{0}:シャーシ種別	メッセージに従い、対処してください。
20030203	シャーシが選択されていません。	—	—
20030204	以下のシャーシの登録を削除します。 ----- {0} よろしいですか？	{0}:シャーシ情報	メッセージに従い、対処してください。
20030300	Partition が選択されていません。 Partition を選択してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030301	設定された Partition は搭載されていません。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030302	設定された Partition は初期化中です。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030303	設定された Partition でエラーが発生しています。 Partition のエラー状態を回復し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030304	設定された Partition の状態が取得できません。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030310	設定された Partition の電源が ON、または OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030311	設定された Partition の電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。 なお、電源状態が OFF 以外の Partition を操作するには、HVM 情報を Profile に登録しておく必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030312	設定された Partition の電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。 OS モードが HVM 以外の Partition を操作するには、電源状態が OFF である必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030320	設定された Partition に対応する HVM 情報が Profile に登録されています。 前回の HVM 情報の Update から、以下の操作が行われていないことを確認してください。 ・ HVM スクリーン等による HVM IP アドレスの変更。 ・ HVM 構成情報のリストア、クリア。 ・ ブレード搭載位置の変更。 これらの操作が行われた場合、以降の操作が正常に行えなくなりますので、Cancel をクリックして、Main ウィンドウの Profile タブから HVM を削除してください。 構成が一致している場合は OK をクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030350	ファームウェアのバージョン組み合わせはよろしいですか？ 未サポートのファームウェアに本機能を適用すると、設定が適用されない場合があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030402	HVM ID に設定できる最大文字数は 16 文字です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030404	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030405	VNic System No に設定できる値は 1-128 です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030406	設定された VNic System No は既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030407	必要項目が設定されていません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030409	サブネットマスクの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスのサブネットマスクを設定してください。 (XXX.XXX.XXX.XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
20030410	設定されたブレードの HVM 情報が Profile から検出できないためこの操作は実行できません。 Profile に HVM を登録してから、再度実行してください。 既に登録されている場合は、HVM 情報の Update を実施してから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030480	VNIC System No は、仮想 NIC の MAC アドレス (デフォルト値) の重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。 VNIC System No は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。 他の HVM と重複した場合、LPAR の仮想 NIC の MAC アドレスが重複し、LPAR 上でのネットワーク通信ができなくなります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030481	HVM ID は、複数の HVM システムが存在する場合、それぞれを識別するため設定します。 HVM ID は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。設定しない場合は、HVM IP アドレスから自動生成されます。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030500	設定されたブレードの電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030501	OS モードを識別できませんでした。 Partition の状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030502	電源 ON 監視をしています。 {0} 秒間経ちましたが、電源が ON になりませんでした。 継続して監視を続ける場合は、OK を選択してください。 監視をやめて、手動で電源を ON にする場合は Cancel を選択してください。 Cancel を選択すると、HVM の起動監視が開始されます。 なお、メモリの搭載量や Pre-configure の設定によっては時間がかかる場合があります。	{0} : 電源 ON 監視時間	メッセージに従い、対処してください。
20030503	電源 ON 監視をスキップしますがよろしいですか？ OK を選択する場合は、必ず手動で電源を ON にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030504	HVM の起動に必要な BIOS 設定は、設定済みですか？	—	BIOS 設定が未設定の場合は、設定してください。
20030505	電源 ON の確認後、R-KVM Console (ReClient) が自動的に起動されるのでログインに必要なユーザ ID、パスワード等の情報を用意してください。 R-KVM Console の起動後、サーバブレードにログインし、ユーザーズガイドに従い、BIOS セットアップメニューから設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030506	対象の Partition で Pre-configure が未実行のため、処理を続行できません。 Pre-configure を実行後、再実行してください。 Pre-configure の実行方法については、ブレード装置のユーザーズガイドを参照してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030507	HVM のシステムタイムゾーンの設定に失敗しました。Time Zone : {0} リトライしますか？ リトライを行う場合は、Yes を選択してください。 No を選択すると、タイムゾーンの設定を行わないで次の画面に進みます。 その場合は、後ほど手動でタイムゾーンの設定を行ってください。 設定方法はユーザーズガイドを参照してください。	{0} : Time Zone	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030600	LPAR({0})にVirtual Consoleが設定されていません。 LPARにVirtual Consoleを割り当て、Updateを実施してください。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030601	LPARが選択されていません。	—	—
20030602	LPARがActivateされていません。	—	—
20030603	LPAR({0})に、R-KVMに使用するUSBデバイスが割り当てられていません。 R-KVMに使用するUSBデバイスを割り当て、Updateを実施してください。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030604	LPAR({0})に、USBデバイスが割り当てられていません。 USBデバイスの割り当てを確認してください。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030605	LPAR {0} のUSBデバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: "Attach" or "Detach"	メッセージに従い、対処してください。
20030606	LPAR {0} のUSBデバイスを Detach 後、LPAR {1} のUSBデバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030607	R-KVMに使用するUSBデバイスの識別ができませんでした。	—	—
20030620	継続してHVM Consoleによる操作を行いますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30000101	メモリの設定値が正しくありません。 256MB (0.25GB) 単位で設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30000102	メモリの設定値が使用可能メモリ量を超えています。 使用可能メモリ量の範囲内で設定してください。 使用可能メモリ量 : {0} GB [{1} MB]	0: 利用可能メモリ (単位 GB) 1: 利用可能メモリ (単位 MB)	メッセージに従い、対処してください。
3000A001	SVP情報が見つからないため、処理を続行できません。 SVP情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3000A002	設定されたIPアドレスは既に他のHVMとして登録されています。 登録済みHVM ID: {0} 設定値を確認してください。	0: 登録済みHVM ID	メッセージに従い、対処してください。
3000A003	設定されたIPアドレスは既に他のBMCとして登録されています。 登録済みシャーシ ID: {0} パーティション: {1} 変更を行いますか？	0: 登録済みシャーシ ID 1: パーティション番号	メッセージに従い、対処してください。
3000A004	設定されたIPアドレスは既に他のSVPとして登録されています。 登録済みシャーシ ID: {0} 設定値を確認してください。 登録済みシャーシの情報はInitial Setup機能を使用して確認してください。	0: 登録済みシャーシ ID	メッセージに従い、対処してください。
3000A00A	指定された操作は、対象ブレードではサポートされていません。 サポート状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30010101	対象の LPAR 情報の検索に失敗しました。 編集画面をいったん閉じて、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010102	対象のデバイスの動作モードが {0} ではありません。 対象のデバイスの動作モードを確認してください。	{0}: "Dedicate" or "Share"	メッセージに従い、対処してください。
30010103	割り当て可能な VNIC 番号がありません。 対象 LPAR の共有 NIC を減らすか、VNIC 番号の割り当てを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010104	割り当て対象の物理 NIC の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010105	割り当て可能な共有 NIC がありません。 デバイスの動作モードを変更して共有デバイスを増やしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010110	割り当て対象の物理 HBA の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010111	対象の共有 HBA に vfcID の空きがありません。 不要な割り当てを解除するか、他の HBA を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020100	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020101	LPAR 名に不正な文字が登録されています。 LPAR 名に使用できる文字は、'0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_' です。 LPAR 名の先頭に使える文字は、'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020102	LPAR 名が重複しています。重複 LPAR No : {0} LPAR 名を変更してください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30020103	割り当てプロセッサ数が適切ではありません。 {0} 以下の値を設定してください。	{0}: 割り当て可能プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020104	Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020105	占有プロセッサの場合、変更はできません。 共有プロセッサへ変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020106	サービス率が適切ではありません。 1 以上の値を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020107	サービス率変更時、スケジュールモードを変更できません。	—	—
30020108	Activate 中の占有プロセッサに対し、変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020109	Activate 中の LPAR に対し、スケジュールモードと、プロセッサグループを同時に変更できません。 一旦コミット処理を実行するか、または Deactivate 後、設定変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020110	プロセッサキャッピング変更時、スケジュールモードを「S」から「D」へ変更できません。	—	—
30020111	変更内容がコミットされるまで、変更前の LPAR 名と重複する値を設定する事はできません。重複 LPAR No : {0} 一旦コミット処理を実行後、LPAR 名の変更を行ってください。	{0}: LPAR No.	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020200	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020201	割り当てプロセッサ番号が重複しています。重複割り当て Processor No : {0} LPAR 内で重複しないプロセッサ番号に変更してください。	{0} : プロセッサ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020202	割り当てプロセッサ番号が適切ではありません。 0 ~ {0} のプロセッサ番号、または "A" (Auto) を設定してください。	{0} : 割り当て可能プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020203	プロセッサを占有で割り当てている場合、Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020204	割り当てプロセッサ範囲外のため、変更はできません。 割り当てプロセッサ数変更後、設定を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020300	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020301	プロセッサグループ名に不正な文字が登録されています。 プロセッサグループ名に使用できる文字は、'0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_' です。 プロセッサグループ名の先頭に使える文字は、'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020302	プロセッサグループ名が重複しています。重複 Group No : {0} 重複しない名称に変更してください。	{0} : プロセッサグループ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020303	割り当て LPAR が起動中のため変更はできません。 対象 LPAR を Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020304	ライセンスコア不足数を超える予備コアの指定はできません。不足数 : {0} 不足数を超えない範囲で設定してください。	{0} : ライセンスコア不足数	メッセージに従い、対処してください。
30020305	変更内容がコミットされるまで、変更前のプロセッサグループ名と重複する値を設定する事はできません。重複 Group No : {0} 一旦コミット処理を実行後、プロセッサグループ名の変更を行ってください。	{0} : プロセッサグループ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020500	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020501	{0} が変更されています。 Commit を行ってから変更してください。	{0} : "Scheduling Mode (Schedule)" or "Device Assignment"	メッセージに従い、対処してください。
30020502	Attach/Detach は、選択した PCI Device が USB で LPAR が Activate 中の時しか実行できません。 選択を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020503	Attach/Detach は、PCI Device (USB) が未割り当ての時は実行できません。 選択を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020504	選択対象が不正なため、Attach/Detach を実行できません。 Attach/Detach は以下の条件を満たす場合に実行する事ができます。 ・ LPAR に USB が割り当てられている場合。 ・ PCI Device が USB の場合。 ・ LPAR が Activate 中の場合。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020505	選択対象が不正なため、Set/Reset を実行できません。 Set/Reset は以下の条件を満たす場合に実行する事ができます。 ・ LPAR に USB が割り当てられている場合。 ・ PCI Device が USB の場合。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020600	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020601	不正な MAC アドレスです。 正しい MAC アドレスを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020602	MAC アドレスが重複しています。 重複しない MAC アドレスに変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020610	不正な VLAN ID です。 VLAN ID は 1~4094 の範囲内で最大 {0} 個 {1} 設定できます。	{0} : 設定可能な VLAN ID 数 {1} : VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
30020611	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、VLAN ID の最大設定可能数は {1} 個です。 設定数を {2} 個までにしてください。	{0} : VLAN Mode {1} : VLAN ID の最大設定可能数 {2} : VLAN ID の最大設定可能数	メッセージに従い、対処してください。
30020612	VLAN ID が設定されていません。 VLAN ID を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020613	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、VLAN ID を設定できません。 VLAN Mode (Tag) を {1} に変更してください。	{0} : VLAN Mode {1} : VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
300206F0	本設定はネットワークセグメント識別子毎の設定です。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
300206F1	変更内容がコミットされるまで、変更前の MAC アドレスと重複する値を設定する事はできません。重複 LPAR No : {0} 重複 VNIC No : {1} 一旦コミット処理を実行後、MAC アドレスの変更を行ってください。	{0} : LPAR No. {1} : VNIC No.	メッセージに従い、対処してください。
30020700	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020900	設定範囲が不正です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020901	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020902	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020903	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。変更してもよろしいですか？ 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020904	{0} の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	{0} : "BSMx" (x=1-4)	メッセージに従い、対処してください。
30020905	管理サーバの IP アドレスが未登録のため、Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020906	HVM の Subnet Mask が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020907	HVM の Default Gateway が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020908	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020909	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存を実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090A	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090B	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存を実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090C	HVM のリブートが必要となるため、Activate 中の LPAR が存在する場合、変更する事ができません。 すべての LPAR を Deactivate 後、HVM の動作モードを変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090D	HVM ID が不正です。 設定値を入力してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020B00	Date And Time の取得に失敗しました。	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B01	SVP から NTP の設定をインポートします。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B02	BMC から NTP の設定をインポートします。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B03	選択した LPAR の時刻をシステム時刻に合わせます。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020C00	HVM オプションの取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020C01	HVM オプションの取得を中断します。 よろしいですか？		メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020F00	システムログの取得に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020F01	システムログの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021200	未コミット状態で、変更内容はクリアされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021201	{0} を {1} します。 よろしいですか？	{0}:“LPAR 番号 : LPAR 名称” or “プロセ ッサグループ番号 : プロセッサグループ 名称” {1}: “Activate” or “Deactivate” or “Reactivate” or “Add” or “Remove”	メッセージに従い、対処してください。
30021202	コミット処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021203	Force Recovery 処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021204	HVM システムのシャットダウンを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021205	構成情報の保存を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021206	{0} の NVRAM を消去 (初期化) します。 よろしいですか？	{0}:LPAR 番号: LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021207	LPAR {0} から LPAR {1} へ NVRAM のコピーを行います。 よろしいですか？	0:LPAR 番号 1:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021208	HVM のダンプを SVP へ出力します。 過去に作成したダンプファイルがある場合、上書きされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021209	未コミット状態のため、処理を継続する事ができません。 コミット処理、または Update 処理を行った後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021210	{0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0}:LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}:“Attach” or “Detach”	メッセージに従い、対処してください。
30021211	HVM System Logs へ移動します。 SysLog Update ボタンをクリックし、ダンプの出力結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021212	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0}:LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}:LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021213	選択した機能は、現在未サポートとなっております。	—	—
30021214	設定が変更されていないため、コミット処理を行う事ができません。	—	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021215	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていません。 対象 LPAR を Deactivate 後、PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、 対処してください。
30021216	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていません。 PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、 対処してください。
30021217	{0} の R-KVM を実行します。 よろしいですか？ また、以降に Activate、または Reactivate を実行した LPAR に、 R-KVM は Attach されます。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
30021218	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の R-KVM を実行します。よろしいですか？ また、以降に Activate、または Reactivate を実行した LPAR に、R-KVM は Attach されます。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
3002121F	未コミットの内容は保存されません。 構成情報の保存を行ってよろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021222	選択した機能は、対象の HVM で未サポートとなっております。 ファームウェアの更新を実施し、最新のファームウェアを使用してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021223	HVM システムのリポートを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021224	HVM システムのシャットダウンを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021225	HVM システムのリポートを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021300	メモリ割り当て情報の取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021301	LPAR No. {0} の Add に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021302	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Add に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグループ 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021303	HVM システム状態の取得に失敗しました。 {0}	0 : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021304	HVM システム状態の更新に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021305	HVM システムのシャットダウンに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021306	Force Recovery に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021307	HVM システムのシャットダウン要求を実行しました。	—	—
30021308	Force Recovery が正常終了しました。	—	—
30021309	構成情報の保存に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130A	構成情報の保存は正常終了しました。	—	—
3002130B	NVRAM のクリアに失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130C	NVRAM のクリアは正常終了しました。	—	—
3002130D	NVRAM のコピーに失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130E	NVRAM のコピーは正常終了しました。	—	—
3002130F	HVM ダンプの出力に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021310	HVM ダンプを SVP に出力しました。	—	—
30021311	論理 NIC の情報取得が失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021312	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Attach に失敗しました。 {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021313	Update を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021314	Cancel を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021315	Force Recovery を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021316	構成情報保存処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度構成情報保存処理を実行 してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021317	HVM システムのシャットダウンを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021318	LPAR の Activate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021319	LPAR の Deactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131A	LPAR の Reactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131B	LPAR の追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131C	LPAR の削除を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131D	プロセッサグループの追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131E	プロセッサグループの削除処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131F	PCI デバイスの Attach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021320	PCI デバイスの Detach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021321	NVRAM のクリアを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のクリアを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021322	NVRAM のコピーを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のコピーを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021323	HVM ダンプの出力を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、HVM System Logs で実行結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021324	コミット処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021325	メモリ割り当て情報の取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021326	LPAR No. {0} の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021327	LPAR No. {0} の Activate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021328	LPAR No. {0} の Deactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021329	LPAR No. {0} の Reactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021330	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグループ番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021331	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Detach に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021332	Boot Order (LPAR No. {0}) の取得に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021333	Boot Order の取得に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021335	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021336	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 対象 LPAR を Deactivate 後、EFI ブートデバイスの設定を行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021338	FC (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021339	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
3002133A	HVM システムのリポートに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3002133B	構成情報を更新後、HVM システムのリポート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リポートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133C	HVM システムのリポートを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リポートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133D	HVM システムのリポート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リポートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133E	Adjust LPAR Time を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002133F	USB デバイス自動 Attach 設定 (LPAR No. {0}) の Set/Reset に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021340	USB デバイス自動 Attach 設定の Set/Reset を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021341	{0} の USB デバイス自動 Attach 設定を {1} します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : " Set" or " Reset"	—
30021400	WWPN は 16 桁で設定を行わないとエラーになります。 設定値を確認してください。 -----	—	メッセージに従い、対処してください。
30021401	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

10.3 モニタリング用メッセージ

モニタリングで使用されるメッセージは表 10-4 のとおりです。

表 10-4 モニタリングで使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
40000101	対象の HVM が見つかりませんでした。 HVM の Update を実施して、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

10.4 ファームウェア更新用メッセージ

ファームウェア更新で使用されるメッセージは表 10-5 のとおりです。

表 10-5 ファームウェア更新で使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
50000101	ファームウェアの更新処理を開始します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
50000102	HVM F/W Version が未指定の場合、次のステップに進むことができません。 HVM F/W Version を指定するか、対象から外してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000103	{0} 用の HVM F/W が見つかりませんでした。 HVM F/W があるフォルダを選択してください。	{0} : サーバブレード種別	メッセージに従い、対処してください。
50000104	HVM F/W の更新処理が正常終了後、HVM 構成情報の取得が失敗しました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000105	HVM F/W の更新処理が正常終了後、HVM 構成情報の取得がキャンセルされました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000106	有効なバージョンアップキーが見つかりませんでした。 バージョンアップキーの入力を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000107	対象となる HVM F/W Version が存在しないため、次のステップに進むことができません。 該当する機種を対象から外してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000108	キャンセルしました。 接続失敗の詳細を確認するには、Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000109	接続可能な HVM が見つかりませんでした。 接続失敗の詳細を確認するには、Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
5000010A	ファイル出力が正常終了しました。	—	—
5000010B	ファイル出力に失敗しました。 詳細 : {0} 出力先フォルダの状態を確認後、再度実行してください。	{0} : 詳細エラー情報	メッセージに従い、対処してください。
5000010C	HVM ファームウェア更新を終了します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。

10.5 ソリューション用メッセージ

ソリューションで使用されるメッセージはのとおりで。

表 10-6 ソリューションで使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30060000	前の Step へ戻ると本 Step で実行した内容は失われます。実行内容：{0} よろしいですか？	{0}:本 Step での実行内容	メッセージに従い、対処してください。
30060001	{0}を終了します。 よろしいですか？	{0}:“Easy Start”	メッセージに従い、対処してください。
30060002	警告が複数あります！ アイコンをダブルクリックすると警告の内容を別画面で表示します。 アイコンをダブルクリックして内容を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060003	正常に終了しました。 対象：{0}	{0}:格納フォルダ名称	—
30060004	エラーが複数あります！ アイコンをダブルクリックするとエラーの内容を別画面で表示します。 アイコンをダブルクリックして内容を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060200	指定フォルダにファイルがありません。 指定したフォルダを確認してください。 指定フォルダ名：{0}	{0}:指定フォルダ名称	メッセージに従い、対処してください。
30060201	同じ発注時番号のエントリがあります。発注時番号：{0} 指定したフォルダ及びファイルを確認してください。 指定ファイル名：{1}	{0}:発注時番号 {1}:指定ファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
30060202	同じHVMのエントリがあります。HVM IP Address：{0} 指定したファイルを確認してください。 指定ファイル名：{1}	{0}:発注時番号 {1}:指定ファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
30060203	指定されたブレードはHVM初期設定をサポートしていません。 Blade Type：{0} HVM初期設定をあらかじめ行ってください。	{0}:HVMのIPアドレス {1}:指定ファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
30060204	HVMの登録台数制限({0}台)を越えます。登録必要台数：{1} Profileから、不要なHVM登録を削除してください。 または、登録が必要なHVMの選択を外してください。	{0}:HVMの登録制限台数 {1}:HVMの登録台数	メッセージに従い、対処してください。
30060205	HVMの登録に失敗しました。HVM IP Address：{0} HVMの電源状態やネットワーク状況を確認してください。 内部エラーメッセージ：{1}	{0}:HVMのIPアドレス {1}:内部エラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
30060206	{0}の対象HVMがないため、Step4へスキップします。	{0}:“Initial Setting”	—
30060207	HVMが登録されていません。 次に進むにはHVMの登録が必要です。HVMをProfileに登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060208	HVMの登録処理がユーザー要求によりキャンセルされました。	—	—
30060209	更新対象HVM構成情報のバックアップは事前に実施しましたか？	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30060300	指定の SVP IP Address が IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスを設定してください。 (XXX. XXX. XXX. XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
30060301	SVP の IP Address が同じなのに User ID や Password が違います。 指定した User ID と Password を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060302	SVP の IP Address が同じなのに HVM の Location が重複しています。 指定した SVP IP Address と指定ファイル内の Location 設定 (<HvmConf>-<Location>) を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060399	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}:"Connection to SVP"	メッセージに従い、対処してください。
30060400	ブレードの電源が OFF ではありません。 Partition No : {0} 警告を無視して実行した場合は、Initial Setting をスキップします。 ブレードの電源を OFF にしてから、再度実行してください。	{0}:対象 Partition 番号	メッセージに従い、対処してください。
30060401	指定の搭載位置にブレードが挿入されていない、またはブレード初期化中です。 Partition No : {0} ブレードの状態を確認してから、再度実行してください。	{0}:対象 Partition 番号	メッセージに従い、対処してください。
30060499	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}:"Initial Setting"	メッセージに従い、対処してください。
30060500	HVM が登録されていません。 次に進むには HVM の登録が必要です。 HVM を Profile に登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060599	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}:"LPAR Setting"	メッセージに従い、対処してください。
30060600	実行対象から外されました。 Step : {0}	{0}:"Load HVM Setting File"	—
30060601	エビデンスファイルを出力して {0} を終了します。 よろしいですか？	{0}:"Easy Start"	メッセージに従い、対処してください。
30060602	エビデンスファイルを出力していません！ 画面を閉じて、 {0} を終了してもよろしいですか？	{0}:"Easy Start"	メッセージに従い、対処してください。
30060603	エビデンスファイルの出力は正常に終了しました。 格納フォルダ : {0}	{0}:エビデンスファイルの格納フォルダ	—
30068001	XML ファイルの解析に失敗しました。 detail : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}:詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
30068002	設定値が正しくありません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068003	設定値が重複しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068004	{0}の指定がないため、HVM IP アドレス情報のみで接続対象を認識します。	{0}:"Chassis Serial Number" or "Blade Serial Number"	—
30068005	設定に必要な物理リソース情報がありません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068006	物理と仮想のスケジュールが一致しません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068007	ファイルのバージョンがサポート範囲外です。ファイルバージョン : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0} : 指示書のファイル	メッセージに従い、対処してください。
30068008	必要な設定値がありません。 対象 : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0} : 設定項目名称	メッセージに従い、対処してください。
30068009	XML の解析に失敗しました。 detail : {0} 指定したファイルの内容が変更されていないか確認してください。	{0} : 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
30068101	ブレードの電源が OFF ではありません。 ブレードの電源を OFF にしてから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30068102	必要な値が設定されていません。 対象 : {0} 内容を確認し、再度実行してください。	{0} : 設定項目名称	メッセージに従い、対処してください。
30068103	接続対象のサーバブレードは Virtage Navigator からの BIOS 設定をサポートしていません。 SVP Ver. : {0} BIOS Ver. : {1} ファームウェアのバージョンがサポート対象か確認してください。	{0} : SVP バージョン {1} : BIOS バージョン	メッセージに従い、対処してください。
30068104	接続対象のサーバブレードは Virtage Navigator からの HyperThreading 設定をサポートしていません。 SVP Ver. : {0} BIOS Ver. : {1} ファームウェアのバージョン、または搭載プロセッサがサポート対象か確認してください。	{0} : SVP バージョン {1} : BIOS バージョン	メッセージに従い、対処してください。
30068105	ブレードの電源が OFF ではありません。OS モードが HVM 以外に設定されているため、スキップできません。 ブレードの電源を OFF にしてから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30068106	接続したサーバブレードと Partition 位置が異なります。 設定値 : {0} 取得値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 指示書の設定値 {1} : 既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068107	接続対象のサーバブレードに HVM がインストールされていません。 サーバブレードの構成を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068108	選択されている HVM の HVM 起動待ちを中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30068109	HVM IP Address : {0} HVM 起動待ち状態になってから、約 {1} 分経過しました。 HVM の起動が確認出来ません。以下を確認してください。 1. 管理サーバと HVM 間のネットワーク接続に問題は無いか、疎通確認を行ってください。 2. HVM コンソール(シリアル接続)で、HVM が起動中になっているか確認してください。 3. メンテナンスツールを使用して起動していないかを確認してください。 4. BSM 連携設定でこのコンピュータの IP アドレスが、BSM IP アドレスに登録されているか確認してください。 上記の確認後、必要であれば STOP ボタンから処理を中断し、再度実行を行ってください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:経過時間(分)	メッセージに従い、対処してください。
30068201	対象のサーバブレードと指示書のシリアル番号が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068202	対象のサーバブレードの HyperThread 設定が指示書の設定と異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068203	対象のサーバブレードと指示書の情報が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068204	対象のサーバブレードのリソースが指示書の情報と異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068205	対象のサーバブレードと指示書の情報が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068206	対象のサーバブレードに指定の物理 PCI デバイスが存在しません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068207	対象のサーバブレードには設定対象の LPAR が既に存在しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068208	対象のサーバブレードと設定値が重複しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068209	LPAR AutoAct 設定の合計数が Act できる上限数を超えています。 対象 : {0} 設定数 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値 {2} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820B	共有 NIC の設定数が上限を超えています。 設定数 : {0} 上限数 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定値 {1} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820C	LPAR に割当てできるプロセッサ数の上限を超えています。 対象 : {0} 設定数 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値 {2} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820D	対象のサーバブレードの HVM は HvmRestart をサポートしていないため、Reboot を実施できません。 HVM Ver. : {0} 対象 HVM がサポート対象か確認してください。	{0} : HVM バージョン	メッセージに従い、対処してください。
3006820E	設定番号が上限数を超えています。 対象 : {0} 設定番号 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値 {2} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820F	対象のサーバブレードと指示書の HVM 動作モードの値が違います。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値 {2} : 取得値	メッセージに従い、対処してください。
30068210	構成情報の設定に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30068301	選択中の実行履歴を削除します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068302	削除対象が選択されていません.	—	—

Virtage Navigator 操作において、表示されるメッセージの一部に使用する HvmSh エラーメッセージの一覧を以下に示します。

表 10-7 HvmSh エラーメッセージ一覧

メッセージ コード	メッセージ	説明	対処方法
10020001	Response Timeout.	対象のホストからの応答がありませんでした.	指定した対象ホスト (操作先 HVM) が正常に動作していることを確認してください。正常に動作している場合は再実行してください。
10030001	Failed to bind.	bind に失敗しました.	通信構成を確認してください。
上記以外	HVM 管理コマンド (HvmSh) ユーザーズガイドを参照してください。		

11 変更来歴

Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編の変更来歴を以下に示します。

表 11-1 Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	全 般	新規ウインドウ・表示項目・操作等の項目に、“導入/変更 Ver.”欄を追加し、導入バージョンまたは更新バージョンを記載しました。
		5 6 7	Virtage Navigator V01-01 機能追加に合わせ、内容の変更を行いました。
		5	【名称変更】 (1)No. 7 RT View 列 View ボタン→Realtime View 列 View ボタン (2)No. 8 Hist View 列 View ボタン→History View 列 View ボタン (3)No. 11 Setting 列 Setting ボタン→Threshold 列 Threshold ボタン (4)No. 15 Setting ボタン→Threshold ボタン (5)No. 28 RealTime ボタン→Realtime ボタン (6)No. 44 HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ →HVM Monitor Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ (7)No. 45 メニューリスト(Line Mode)→メニューリスト(Graph Style) (8)No. 53 メニューリスト(Graph Mode)→メニューリスト(Usage Rate) (9)No. 54 Service Rate→Service Rate Base (10)No. 55 System→System Base (11)No. 59 メニューリスト(Graph Change) →メニューリスト(Data Change) (12)No. 73 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (13)No. 105 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (14)No. 112 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (15)No. 113 Service Rate→Service Rate Base (16)No. 114 System→System Base (17)No. 129 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (18)No. 136 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (19)No. 137 Service Rate→Service Rate Base (20)No. 138 System→System Base (21)No. 165 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (22)No. 183 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (23)No. 190 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (24)No. 191 Service Rate→Service Rate Base (25)No. 192 System→System Base

		<p>(26) No. 263 Monitor Setting Management ウィンドウ →Monitor Threshold Management ウィンドウ</p> <p>(27) No. 273 Threshold Check Count テキストボックス →Threshold Count(1-100) テキストボックス</p> <p>(28) No. 277 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold) →Caution(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(29) No. 278 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold) →Error(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(30) No. 280 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) →Caution(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))</p> <p>(31) No. 281 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) →Error(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))</p> <p>(32) No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~16) →LPAR チェックボックス nn(nn=01~60)</p> <p>(33) No. 289 Service Rate ON チェックボックス →Service Rate Base ON チェックボックス</p> <p>(34) No. 290 System ON チェックボックス →System Base ON チェックボックス</p> <p>(35) No. 295 Service Caution テキストボックス →Service Caution(1-999) 列テキストボックス</p> <p>(36) No. 296 Service Error テキストボックス →Service Error(1-999) 列テキストボックス</p> <p>(37) No. 297 System Caution テキストボックス →System Caution(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(38) No. 298 System Error テキストボックス →System Error(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(39) No. 299 Insuff Caution テキストボックス →Insuff Caution(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(40) No. 300 Insuff Error テキストボックス →Insuff Error(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(41) No. 321 Threshold Monitoring Mail Report フレーム →Mail Report フレーム</p> <p>(42) No. 338 Operation フレーム (Mode Setting タブ) →Operation フレーム (Monitoring Mode タブ)</p> <p>(43) No. 344 HVM Monitor RT Viewer [Multi] ウィンドウ →HVM Monitor Realtime Viewer [Multi] ウィンドウ</p> <p>(44) No. 346 メニューリスト (Line Mode) →メニューリスト (Graph Style)</p> <p>【位置変更】</p> <p>(1) No. 62 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(2) No. 118 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(3) No. 145 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(4) No. 171 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(5) No. 196 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p>
--	--	---

		<p>(6) No. 234 Enable Auto AverageHistory Log チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Auto Average History Log フレーム →Operation フレーム(Log Setting タブ)</p> <p>(7) No. 235 Setting Time ForAverage コンボボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Auto Average History Log フレーム →Operation フレーム(Log Setting タブ)</p> <p>(8) No. 236 Save ボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Auto Average History Log フレーム →Operation フレーム(Log Setting タブ)</p> <p>(9) No. 271 One Threshold Mode ラジオボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(10) No. 272 Two Threshold Mode ラジオボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Mode フレーム</p> <p>(11) No. 273 ThresholdCount (1-100) テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Mode フレーム</p> <p>(12) No. 274 Save ボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Mode フレーム</p> <p>(13) No. 277 Caution(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold) Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(14) No. 278 Error (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold) Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(15) No. 279 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold) Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(16) No. 280 Caution(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(17) No. 281 Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(18) No. 282 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) Operation フレーム(Threshold Setting タブ)の Threshold Monitoring フレーム →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p>
--	--	---

		<p>(19)No. 283 Save ボタン Monitor Setting Management ウィンドウ →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(20)No. 287 ALL チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(21)No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~60) Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(22)No. 289 Service RateBase ON チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ)の LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(23)No. 290 System RateBase ON チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(24)No. 291 Insuff ON チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(25)No. 292 All Setting Mode チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(26)No. 293 リスト Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(27)No. 294 ON 列チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(28)No. 295 Service Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p>
--	--	--

		<p>(29)No. 296 Service Error(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(30)No. 297 System Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(31)No. 298 System Error(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(32)No. 299 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(33)No. 300 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(34)No. 301 Save ボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(35)No. 321 Mail Report フレーム Operation フレーム(Threshold Setting タブ) →Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(36)No. 322 Enable Mail Report チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) →Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(37)No. 322 Save ボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ) →Operation フレーム(Mail タブ)</p>
		<p>7 【名称変更】 (1)No. 51 Migration ボタン→Migration Execute ボタン (2)No. 51 Recovery ボタン→Recovery Execute ボタン</p> <p>【位置移動】 (1)No. 50 Show Config ボタン Target Selection フレーム→Migration ウィンドウ右下 (2)No. 148 Show Config ボタン Target Selection フレーム→Add Migration ウィンドウ右下</p>
V02-00	2.00	<p>5 【名称変更】 (1)No. 7 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ</p>

			<p>(2)No. 8 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ (3)No. 28 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ (4)No. 29 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ (5)No. 44 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ</p> <p>【機能追加】 (1)No. 72 NIC View フレーム (2)No. 73 View ボタン (3)No. 128～No. 193 NIC Realtime Viewer ウィンドウ (4)No. 272～No. 335 NIC History Viewer ウィンドウ</p> <p>【位置移動】 (1)No. 365 Save ボタン</p>
		4	LPAR 設定機能を追加しました。
V02-01	2. 10	4	<p>【名称変更】 (1)No. 220 「HBA card count」 → 「HBA count」 (2)No. 512 「Shared Virtual FC Port WWN Information メニュー」 → 「Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー」</p> <p>【機能追加】 (1)No. 79～No. 80 「CLI IP アドレスメニュー」 (2)No. 221～No. 222 「Port ラジオボタン」、「card ラジオボタン」 (2)No. 519 「Boot Function」 (3)No. 548～No. 549 「HVM CLI メニュー」 (4)No. 606～No. 607 「MultiSort チェックボックス」 (5)No. 633～No. 645 「Boot Setting スクリーン」 (6)No. 259 「<< Prev. ボタン」</p>
		8	ファームウェア更新機能を追加しました。
		10	V02-01 対応のメッセージに更新しました。
V02-02	2. 20	4	<p>【機能追加】 (1) No. 399 「View Data メニュー」 (2) No. 458 「Mapping Info ボタン」 (3) No. 459～No. 472 「PCI Device Mapping Information ウィンドウ」 (4) No. 500 「Assign Mode メニュー」 (5) No. 563 「Hvm Operating Mode」 (6) No. 578 「NTP」 (7) No. 584 「Split Style メニュー」 (8) No. 585 「View Style メニュー」 (9)No. 604 「HVM Reboot ボタン」 (10)No. 605～607 「HVM Reboot ウィンドウ」</p>
		5	<p>【機能追加・機能変更】 (1)No. 2 「HVM List フレーム」 (2)No. 78 「System Base」 (3)No. 79 「Resource Base」 (4)No. 94 「All」 (5)No. 95 「50」 (6)No. 96 「20」 (7)No. 97 「10」 (8)No. 99 「All」 (9)No. 100 「50」 (10)No. 101 「20」 (11)No. 102 「10」</p>

			<p>(12)No. 103～106 「Top」</p> <p>(13)No. 115 「Each CPU」</p> <p>(14)No. 116～152 「Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ」</p> <p>(15)No. 153 「Reset Color」</p> <p>(16)No. 154～No. 156 「レジェンド」</p> <p>(17)No. 164 「Bar」</p> <p>(18)No. 170 「Resource Base」</p> <p>(19)No. 179～No. 183 「Scale」</p> <p>(20)No. 184～No. 186 「Value」</p> <p>(21)No. 192 「Reset Color」</p> <p>(22)No. 193～No. 195 「レジェンド」</p> <p>(23)No. 328～No. 329 「Usage Rate」</p> <p>(24)No. 341 「Reset Color」</p> <p>(25)No. 342～No. 344 「レジェンド」</p> <p>(26)No. 357 「Resource Base」</p> <p>(27)No. 371 「Reset Color」</p> <p>(28)No. 372～No. 374 「レジェンド」</p> <p>(29)No. 487 「コンボボックス」</p> <p>(30)No. 529 「Resource Base ON チェックボックス」</p> <p>(31)No. 535 「Resource Caution(1-100)列テキストボックス」</p> <p>(32)No. 536 「Resource Error (1-100)列テキストボックス」</p>
		10	<p>V02-02 対応のメッセージに更新しました。</p> <p>以下、追加または変更したコードです。</p> <p>20000824, 20000825, 20000826, 20000827, 20001101, 20001102, 20001103, 30020111, 30020305, 300206F1, 30020908, 30020909, 3002090A, 3002090B, 3002090C, 3002090D, 30021208, 30021222, 30021223, 30021224, 30021225, 3002133A, 3002133B, 3002133C, 3002133D</p>
	2. 21	5	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP]ウィンドウの表示条件を追加しました。
		10	20000827 のメッセージを修正しました。
V02-03	2. 30	5	<p>【機能追加・機能変更】</p> <p>(1)No. 60 「CPU」</p> <p>(2)No. 87 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(3)No. 92～99 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(4)No. 124 「View Snap Graph」</p> <p>(5)No. 188 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(6)No. 193～198 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(7)No. 208 「View Snap Graph」</p> <p>(8)No. 211～310 「CPU Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ」</p> <p>(9)No. 344～357 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(10)No. 358 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(11)No. 395～408 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(12)No. 409 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(13)No. 421～512 「NIC Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ」</p> <p>(14)No. 526 「CPU」</p> <p>(15)No. 563～567 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(16)No. 568～575 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(17)No. 582 「View Bar Graph」</p> <p>(18)No. 607～611 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(19)No. 612～617 「メニューリスト (Scale)」</p> <p>(20)No. 623 「View Bar Graph」</p>

			(21)No. 628~750 「CPU History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ」 (22)No. 796~809 「メニューリスト (Scale)」 (23)No. 810~815 「メニューリスト (Scale)」 (24)No. 822 「View Bar Graph」 (25)No. 840~853 「メニューリスト (Scale)」 (26)No. 854~859 「メニューリスト (Scale)」 (27)No. 866 「View Bar Graph」 (28)No. 867~983 「NIC History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ」
		9	ソリューションタブの説明を追加しました。
		10	V02-03 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000002, 10000300, 20001201, 200012FF, 20030507, 30060000, 30060001, 30060002, 30060003, 30060004, 30060200, 30060201, 30060202, 30060203, 30060204, 30060205, 30060206, 30060207, 30060208, 30060209, 30060300, 30060301, 30060302, 30060399, 30060400, 30060401, 30060499, 30060500, 30060599, 30060600, 30060601, 30060602, 30060603, 30068001, 30068002, 30068003, 30068004, 30068005, 30068006, 30068007, 30068008, 30068009, 30068101, 30068102, 30068103, 30068104, 30068105, 30068106, 30068107, 30068108, 30068109, 30068201, 30068202, 30068203, 30068204, 30068205, 30068206, 30068207, 30068208, 30068209, 3006820B, 3006820C, 3006820D, 3006820E, 30068210, 30068301, 30068302
V02-04	2. 40	2	【機能追加】 (1) No. 8 「Trouble (D) Alt+D メニュー」 (2) No. 55~74 「Trouble ウィンドウ」
		4	【機能追加】 (1) No. 274 「Date And Time」 (2) No. 496~499 「Set/Reset ボタン」 (3) No. 509 「Device Type」 (4) No. 565 「SVP IP Address」 (5) No. 616~639 「Date And Time スクリーン」 (6) No. 646 「PhyCPU C-State (>=C3)」 (7) No. 647 「USB Auto Allocation to USB」 (8) No. 648 「Save Changed Config Format」
		6	【機能追加】 (1) No. 144 「Show Deactivated チェックボックス」
		7	【機能変更】 (1) No. 7 「Show LPAR History ボタン」
		10	メッセージ一覧の表を機能ごとに分割しました。 V02-04 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10002001, 10002002, 10002003, 10002004, 10002005, 30020505, 30020B00, 30020B01, 30020B02, 30020B03, 3002133E, 3002133F, 30021340, 30021341, 3006820F